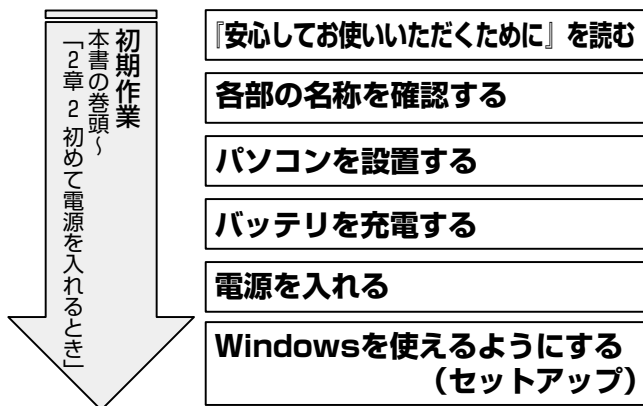


マニュアルの使いかた

① 初めて電源を入れるとき—取扱説明書（本書）

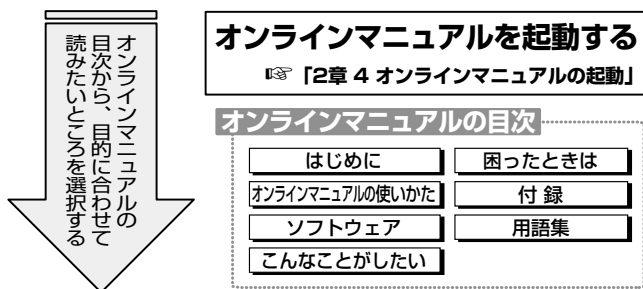
👉 目次は4ページ



セットアップ終了後、Windowsの使いかたについては『クイックスタートガイド』または『Windowsのヘルプ』をご覧ください。

② 初期作業が終わったら—オンラインマニュアル

オンラインマニュアルとは、画面上で確認できる電子マニュアルです。



本書の上記以外の内容は、必要に応じてお読みください。
また、同梱されている他の説明書や、周辺機器に添付されている説明書も必要に応じてお読みください。

● リリース情報について

本製品を使用する上での注意事項などが記述されています。必ずお読みください。[スタート] - [はじめに] - [リリース情報] をクリックします。



サウンド/映像ソフトの使いかた (Windows Me)

本製品にあらかじめインストールされたソフトを使って、次のようなことができます。

ソフトの使いかたについては、オンラインマニュアルをご覧ください。

☞ 「2章 4 オンラインマニュアルの起動」

① サウンドを楽しむ

CDなどから音楽ファイルを取り込む



東芝LIVE MEDIA PLAYER

MP3
MIDI
WAVE } ファイルを再生する



AAC方式で圧縮

TOSHIBA Audio Manager

音楽を再生する
プレイリストを作る

東芝LIVE MEDIA VOICE

音声を録音する
音声を再生する

顔付きMusicDance

音楽に合わせてキャラクタがダンスする



お願い

・音楽ファイルの再生中は、ACアダプタの取りはずしを行わないでください。パソコン本体の電源が切れる場合があります。

② 映像を楽しむ

デジタルビデオカメラで動画を撮影



デジタルビデオカメラを接続 (i.LINKコネクタ)

Ulead VideoStudio

録画テープより動画を取り込む
動画を編集する
録画テープに編集した動画を保存する
動画をファイルに保存する

USBカメラを接続

東芝LIVE MEDIA VIDEO

動画を撮影する
動画を保存する
動画を再生する
動画をメールに添付する

東芝LIVE MEDIA EDIT

動画ファイルを編集する

MPEG-4 Video Encoder V3
for LIVE MEDIA形式で圧縮する

Mediapresso

動画をシーンごとに表示する

デジタルカメラで静止画を撮影

※1 USBカメラを接続して、
静止画を撮影することができます。



パソコンに取り込む

Ulead Photo Express

静止画を撮影する (※1)
静止画を編集する
静止画を保存する
アルバムを作って静止画を管理する
ポストカードやカレンダーを作る

東芝LIVE MEDIA STILL

静止画を撮影する (※1)
静止画を保存する
静止画を再生する
静止画をメールに添付する



目次

マニュアルの使いかた	1
1 初めて電源を入れるときー取扱説明書（本書）	1
2 初期作業が終わったらーオンラインマニュアル	1
サウンド／映像ソフトの使いかた（Windows Me）	2
1 サウンドを楽しむ	2
2 映像を楽しむ	3
目次	4
はじめに	8
本書の読みかた	14
日常の取り扱い	17

1 章 電源を入れる前に..... 23

1 各部の名称	24
2 周辺機器の接続場所	27
3 パソコンの準備	29
1 電源に接続する	29
2 ディスプレイを開ける	30
3 電源に関する表示	31
4 バッテリーの充電	32
1 バッテリー駆動で使うために	32
2 バッテリーの充電	32
3 バッテリーに関する表示	34
5 アクュポイントIIとコントロールボタンの使いかた ...	35
6 キーボード	36
7 サウンド	44
1 スピーカの音量を調整する	44
2 システムスピーカについて	46

2章 電源を入れて切るまで 47

- 1 電源を入れる 48
- 2 初めて電源を入れるとき 51
 - 1 Windows Meのセットアップ 52
 - 2 Windows 2000のセットアップ 60
 - 3 ユーザ登録をする 65
- 3 電源を切る 67
 - 1 Windows Meの場合 69
 - 2 Windows 2000の場合 73
- 4 オンラインマニュアルの起動 77

3章 パソコンを持ち歩く 79

- 1 バッテリーを使う 80
 - 1 バッテリー充電量を確認する 80
 - 2 時計用バッテリー 81
 - 3 バッテリーの使用時間 82
 - 4 バッテリーパックを交換する 84
- 2 大容量バッテリーを使う 87
 - 1 大容量バッテリーパックの取り付け／取りはずし 88
 - 2 パソコン本体への取り付け／取りはずし 89
- 3 バッテリーを節約する 92

1

章

2

章

3

章

4

章

5

章

6

章

7

章

付録

4章	ハードウェアについて	93
1	周辺機器の取り付けについて	94
2	機能を拡張する	95
3	PCカードを使う	100
4	フロッピーディスクを使う	104
	1 フロッピーディスク	104
	2 フロッピーディスクドライブ	105
	3 フロッピーディスクのフォーマット	107
5	USB 機器を接続する	110
6	i.LINK (IEEE1394) 機器を接続する	111
7	CRT ディスプレイを接続する	114
	1 取り付け/取りはずし	114
	2 表示方法の切り替え	115
8	メモリを増設する	117
5章	便利な機能	121
1	消費電力を節約する	122
2	東芝 HW セットアップ	128
3	インターネットに接続する	136
	1 電話回線のタイプを設定する	137
	2 パソコンと電話回線を接続する	140
	3 プロバイダと契約する	142
	4 プロバイダと契約後、必要な設定を行う	145
	5 インターネットに接続する (2回目以降)	151
	6 インターネット接続を終了する	152
4	電子メールを使う	155
	1 メールのおくりこみ	155
	2 必要な設定を行う	156

6章 再セットアップ..... 163

- 1 再セットアップとは 164
- 2 カスタム・リカバリ CD / リカバリ CD とは 165
- 3 標準システムを復元する 166
 - 1 準備 166
 - 2 操作手順 167
- 4 最小構成でシステムを復元する (Windows Me) 172
 - 1 準備 172
 - 2 操作手順 173
- 5 アプリケーションを再インストールする 176

7章 困ったときは 177

- 1 困ったときは 178
 - 1 Q&A を見る前に 178
 - 2 Q&A 集 179

付録 233

- 1 スーパーバイザパスワード 234
 - 2 製品仕様 237
 - 1 外形寸法図 237
 - 2 メモリマップ 238
 - 3 I/O ポートマップ 239
 - 4 DMA 使用リソース 240
 - 5 IRQ 使用リソース 240
 - 3 各インタフェースの仕様 241
- さくいん 244

1
章

2
章

3
章

4
章

5
章

6
章

7
章

付
録



はじめに

このたびは、^{ダイナブック} ^{エスエス} DynaBook SS をお買い求めいただき、まことにありがとうございます。

本製品は小型・軽量で Windows が動作するノートパソコンです。

本書は本製品の基本的な取り扱いかたをできるだけ簡単に、正しく理解できるように作られています。お読みになった後も、いつでも取り出せる場所に保管しておいてください。

また本製品には、本書の他に、より詳細な説明をしたオンラインマニュアルを用意しています。

☞ オンラインマニュアルについて ☞ 「2章 4 オンラインマニュアルの起動」
また、『リリース情報』には、本製品を使用するにあたっての注意事項などが記述されていますので、必ずお読みください。

☞ リリース情報 ☞ 「マニュアルの使いかた リリース情報について」

● 漏洩電流自主規制について

この装置は、社団法人 日本電子工業振興協会のパーソナルコンピュータ業界基準 (PC-11-1988) に適合しております。

● 瞬時電圧低下について

この装置は、社団法人 日本電子工業振興協会の定めたパーソナルコンピュータの瞬時電圧低下対策のガイドラインを満足しております。しかし、ガイドラインの基準を上回る瞬時電圧低下に対しては、不都合を生じることがあります。

● 電波障害自主規制について

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会 (VCCI) の基準に基づくクラス B 情報技術装置です。この装置は家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。
取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

● 国際エネルギースタープログラムについて

当社は国際エネルギースタープログラムの参加事業者として、本製品が国際エネルギースタープログラムの対象製品に関する基準を満たしていると判断します。



省電力設定については、「5章 1 消費電力を節約する」をご覧ください。

● モデム使用時の注意事項

内蔵モデムをご使用になる場合は、次の注意事項をお守りください。

● 使用できない国

内蔵モデムは、次の国で使用できます。

アイルランド、アメリカ合衆国、イギリス、イタリア、オーストラリア、オーストリア、オランダ、カナダ、ギリシャ、スイス、スウェーデン、スペイン、デンマーク、ドイツ、日本、ニュージーランド、ノルウェー、フィンランド、フランス、ベルギー、ポルトガル

その他の国での許認可は受けていないため、その他の国ではご使用になれません。ご注意ください。内蔵モデムが使用できない国では、その国で許認可を受けているモデムをご購入ください。

内蔵モデムに接続する回線がPBX等を経由する場合は使用できない場合があります。

上記の注意事項を超えてのご使用における危害や損害などについては、当社では責任を負えませんのであらかじめご了承ください。

● 自動再発信の制限

内蔵モデムは2回を超える再発信（リダイヤル）は、発信を行わず『BLACK LISTED』を返します（『BLACK LISTED』の応答コードが問題になる場合は、再発信を2回以下または再発信間隔を1分以上にしてください）。

* 内蔵モデムの自動再発信機能は、電気通信事業法の技術基準（アナログ電話端末）「自動再発信機能は2回以内（但し、最初の発信から3分以内）」に従っています。



お願い

- ・ 雷雲が近付いてきたときは、モジュラープラグを電話回線用モジュラージャックから抜いてください。電話回線に落雷した場合、内蔵モデムやパソコン本体が破壊されるおそれがあります。
- ・ 内蔵モデムを使用する場合は、ご使用になる国にあわせてモデムの国設定が必要です。
 - ☛ モデムの国設定
 - ⇨ 《オンラインマニュアル-内蔵モデム用国選択ユーティリティ》

● i.LINK (IEEE1394) 対応機器のご使用について

i.LINK (IEEE1394) 対応機器を使用する場合、次の注意事項を必ず守ってお取り扱いください。

- i.LINK 対応機器を使用しデータ転送を行う場合、必ずデータ（データファイルや、ビデオカメラで撮影したテープ）のバックアップをお取りください。特に動画データ転送時は、パソコンの処理に負荷がかかり、状態によってはコマ落ちが発生する場合があります。また、その際のデータ内容の保証はできません。あらかじめご了承ください。
- 静電気が発生しやすい場所や電氣的ノイズが大きい場所での使用時にはご注意ください。外来ノイズの影響により、転送データが一部欠落する場合があります。万一、パソコンの故障、静電気や電氣的ノイズの影響により、再生データや記録データの変化、消失が起きた場合、その際のデータ内容の保証はできません。あらかじめご了承ください。
- ビデオカメラから取り込んだ画像データ、音声データは、個人として楽しむ他は、著作権法上、権利者に無断で使用できません。
- デジタルビデオカメラなどを使用し、データ通信を行なっている最中に他の i.LINK 対応機器の取り付け／取りはずしを行うと、データがコマ落ちする場合があります。

i.LINK 対応機器の取り付け／取りはずしはデータ通信を行っていないときまたはパソコン本体の電源を入れる前に行なってください。

FCC information

Product name : PORTÉGÉ 3491
Model number : PP349J

FCC notice "Declaration of Conformity Information"

This equipment has been tested and found to comply with the limits for a Class B digital device, pursuant to Part 15 of the FCC rules. These limits are designed to provide reasonable protection against harmful interference in a residential installation. This equipment generates, uses and can radiate radio frequency energy and, if not installed and used in accordance with the instructions, may cause harmful interference to radio communications. However, there is no guarantee that interference will not occur in a particular installation. If this equipment does cause harmful interference to radio or television reception, which can be determined by turning the equipment off and on, the user is encouraged to try to correct the interference by one or more of the following measures:

- Reorient or relocate the receiving antenna.
- Increase the separation between the equipment and receiver.
- Connect the equipment into an outlet on a circuit different from that to which the receiver is connected.
- Consult the dealer or an experienced radio/TV technician for help.

WARNING: *Only peripherals complying with the FCC rules class B limits may be attached to this equipment. Operation with non-compliant peripherals or peripherals not recommended by Toshiba is likely to result in interference to radio and TV reception. Shielded cables must be used between the external devices and the computer's or expansion unit's External monitor port, parallel port, serial port, USB port, IEEE1394 port and microphone jack. Changes or modifications made to this equipment, not expressly approved by Toshiba or parties authorized by Toshiba could void the user's authority to operate the equipment.*

FCC conditions

This device complies with Part 15 of the FCC rules. Operation is subject to the following two conditions:

1. This device may not cause harmful interference.
2. This device must accept any interference received, including interference that may cause undesired operation.

Contact

Address: Toshiba America Information Systems, Inc.
9740 Irvine Boulevard
Irvine, California 92618-1697

Telephone: (949) 583-3000

TOSHIBA



EU Declaration of Conformity
EU Übereinstimmungserklärung
Déclaration de conformité UE
Declaración de conformidad de la UE
Dichiarazione di conformità UE
EU Försäkran om överensstämmelse

Toshiba declares, that the product: PP349J conforms to the following Standards:
Toshiba erklärt, daß das Produkt: PP349J folgenden Normen entspricht:
Toshiba déclarent que le produit cité ci-dessous: PP349J est conforme aux normes suivantes:
Toshiba declaran que el producto: PP349J cumple los sigulentes estándares:
Toshiba dichiara, che il prodotto: PP349J é conforme alle seguenti norme:
Toshiba intygar att produkten: PP349J överensstämmer med föijjande normer:

Supplementary Information: “The product complies with the requirements of the Low Voltage Directive 73/23/EEC, the EMC Directive 89/336/EEC and the R&TTE Directive 1999/05/EEC.”

Weitere Informationen: “Das Produkt entspricht den Anforderungen der Niederspannungs-Richtlinie 73/23/EG und der EMC-Richtlinie 89/336/EG.”

Informations complémentaires: “Ce produit est conforme aux exigences de la directive sur les basses tensions 73/23/CEE et de la directive EMC 89/336/CEE.”

Información complementaria: “El Producto cumple los requisitos de baja tensión de la Directiva 73/23/CEE y la Directiva EMC 89/336/CEE.”

Ulteriori informazioni: “Il prodotto é conforme ai requisiti della direttiva sulla bassa tensione 73/23/EG e la direttiva EMC 89/336/EG.”

Ytterligere information: “Produkten oppfyller kraven enligt lägspeänningsdirektiver 73/23/EEC och EMC-direktiv 89/336/EEC.”

This product is carrying the CE-Mark in accordance with the related European Directives. Responsible for CE-Marking is Toshiba Europe, Hammfelddamm 8, 41460 Neuss, Germany.

● Trademarks

- ・ Microsoft、MS-DOS、Windows、Outlook は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。
- ・ Intel は Intel Corporation の登録商標です。
- ・ PS/2 は、米国 International Business Machines Corporation の登録商標です。
- ・ Sound Blaster は、合衆国やその他の国々における Creative の登録商標です。
- ・ K56flex は、Lucent Technologies と Rockwell Semiconductor Systems の登録商標です。
- ・ i.LINK と i.LINK ロゴは商標です。

取扱説明書に掲載の商品の名称は、それぞれ各社が商標および登録商標として使用している場合があります。

● お願い

- ・ 本書の内容の一部または全部を、無断で転載することは禁止されています。
- ・ 本書の内容は、予告なしに変更することがあります。
- ・ 記憶装置（ハードディスク、フロッピーディスクなど）に記録された内容は故障や障害の原因にかかわらず保証いたしかねます。
- ・ 本製品にプレインストールされているシステム（OS）以外をインストールした場合の動作保証はいたしかねます。
- ・ 購入時に決められた条件以外での、製品およびソフトウェアの複製もしくはコピーをすることは禁じられています。お取り扱いにはご注意願います。
- ・ パスワードを設定した場合は、忘れたときのために必ずパスワードを控えておいてください。
パスワードを忘れてしまって、パスワードを削除できなくなった場合は、お使いの機種を確認後、お近くの保守サービスにご依頼ください。パスワードの解除を保守サービスにご依頼される場合は、有償です。またそのとき、身分証明書（お客様ご自身を確認できる物）の提示が必要となります。

本書の内容について万一不可解な点や誤りなど、お気づきの点がございましたら、東芝 PC ダイアル（巻末参照）までご一報ください。

お使いになる前に本体同梱のお客様登録カードに必要事項をご記入のうえ、返送してください。

保証書は記入内容を確認のうえ、大切に保管してください。



本書の読みかた

記号の意味



警告

・誤った取り扱いをすると、人が死亡する、または重傷を負う可能性
があることを示します。



注意

・誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性、または物的損害
のみが発生する可能性があることを示します。



お願い

・データの消失や、故障や性能低下を起こさないために守ってほしい
こと、仕様や機能に関して知っておいてほしいことです。



メモ

・知っておくと便利なことを説明しています。

本書は、Windows Me モデル、Windows 2000 モデルに共通の取扱説明書です。

それぞれの固有の操作や機能名称を示すときは次のマークを使用しています。
ご購入の製品に応じた部分をお読みください。



Windows Me の場合の固有の操作や機能名称などを示します。



Windows 2000 の場合の固有の操作や機能名称などを示します。

この取扱説明書や他の説明書への参照先を示しています。

「この取扱説明書の参照先」

『他の説明書への参照先』

《オンラインマニュアルへの参照》

(注) 補足説明をしています。

● 画面の表しかた

画面の全部、または一部を表します。







【例】

Total = XXXX KB

—このように画面上または本文中の文字をXで表している場合は、実際にはさまざまな数字や記号が入ります。

● 入力するキーの表現

操作で入力するキーを本文中で表すときには、説明に必要な部分だけを□で囲んで書いています。


-  キーを押す →  を押してください。
-  キーを押す →  を押してください。
-  キーを押す →  (スペースキー) を押してください。

● 操作の表しかた



操作や作業は、次のように示します。

【例】

- 操作が1つで済む場合は、次のように示します。

 キーを押す

- キーを「+」でつないで書いてあるときは、前のキーを押したまま離さずに次のキーを押してください。

 +  キーを押す

この場合は、 キーを押したまま  キーを押します。

用語について

本書では、次の用語について定義します。

システム

特に説明がない場合は、ご使用になるオペレーティングシステム (OS) を示します。

アプリケーションまたはアプリケーションソフト

アプリケーションソフトウェアを示します。

Windows Me

Microsoft® Windows® Millennium Edition operating system
日本語版を示します。


Windows 2000

Microsoft® Windows® 2000 Professional operating system
日本語版を示します。

MS-IME

Microsoft® IME 2000 を示します。

その他不明な用語については、《オンラインマニュアル 用語集》を参照してください。

 「2章 4 オンラインマニュアルの起動」



日常の取り扱い

日常の取り扱いでは、次のことを守ってください。

● パソコン本体



警告

・水などの液体がかかったり、直射日光の当たる場所に置かないでください。ショート、発煙のおそれがあります。



注意

・お手入れの前には、必ずパソコンやパソコンの周辺機器の電源を切り、電源コードをAC電源から抜いてください。電源を切らずにお手入れをはじめると、感電するおそれがあります。

・機器に強い衝撃や外圧を与えないように注意してください。製品には精密部品を使用しておりますので、強い衝撃や外圧を加えると部品が故障するおそれがあります。

・水や中性洗剤は、絶対に本製品に直接かけないでください。本製品が傷んだり故障するおそれがあります。

・シンナーやベンジンなどの揮発性の有機溶剤や化学ぞうきんなどは使わないでください。本製品が傷んだり故障するおそれがあります。

・持ち運ぶときは、必ず電源を切り、電源スイッチロックを有効（右側）にしておいてください。誤って電源スイッチに力が加わり、電源が入る可能性があります。かばんの中など、本製品の発する熱がこもりやすい場所では、内部の温度が上がり、火災、故障のおそれがあります。

・ぐらついた台の上、かたむいたところなど不安定な場所に置かないでください。パソコンが落ちたり、倒れたりしてケガをするおそれがあります。

●機器の汚れは、柔らかい乾いた布で拭いてください。

汚れがひどいときは、水に浸した布を固くしぼってから拭きます。

シンナー、ベンジンなどは使用しないでください。

●ディスプレイは静かに閉じてください。

●使用できる環境は次のとおりです。

温度 5～35℃、湿度 20～80%

●次のような場所で使用や保管をしないでください。

直射日光の当たる場所

非常に高温または低温になる場所

急激な温度変化のある場所（結露を防ぐため）

強い磁気を帯びた場所（スピーカなどの近く）

ホコリの多い場所

振動の激しい場所

薬品の充満している場所

薬品に触れる場所

● 電源コード

電源コードのプラグを長期間に渡って AC コンセントに接続したままにしていると、プラグにほこりがたまることがあります。定期的にはこりを拭き取ってください。

● キーボード

乾いたやわらかい素材のきれいな布で拭いてください。

汚れがひどいときは、水か中性洗剤を布に含ませ、固くしぼって拭きま
す。

キーのすきまに入ったゴミが取れないときは、お使いの機種をご確認後、
お買い求めの販売店、または保守サービスにご相談ください。

コーヒーなどの飲み物をこぼしたときは、電源を入れる前にお買い求めの
販売店、または保守サービスに連絡し、交換を依頼してください（有償）。

● 液晶ディスプレイ

● 画面の手入れ

● 画面の表面には偏向フィルムが貼られています。このフィルムはキズつ
きやすいので、むやみに触れないでください。

表面が汚れた場合は、柔らかくきれいな布で拭き取ってください。水や中
性洗剤、揮発性の有機溶剤、化学ぞうきんなどは使用しないでください。

● 無理な力の加わる扱いかた、使いかたをしないでください。

液晶表示素子は、ガラス板間に液晶を配向処理して注入してあります。
そのため、圧力がかかると配向が乱れ、元に戻らなくなる場合があります。

● サイドライト用 FL 管について

ディスプレイに装着されているサイドライト用 FL 管（冷陰極管）は、ご
使用になるにつれて発光量が徐々に減少し、表示画面が暗くなります。表
示画面が見づらくなったときは、お使いの機種をご確認後、お近くの保守
サービスにご相談ください。有償にて交換いたします。

● 表示不良画素について

カラー液晶ディスプレイは、非常に高精度な技術を駆使して作られていま
すが、一部に表示不良画素（欠け、常時点灯など）が存在することがあり
ます。これらの表示不良画素は、少量に抑えるよう管理していますが、現
在の最先端の技術でも表示不良画素をなくすことは困難ですので、ご了承
ください。

● アクュポイントⅡ（ポインティング装置）

マウスポインタを動かすポインティング装置をアクュポイントⅡといいます。アクュポイントⅡは、ハンドクリームや油などのついた手で操作したり、油性の液体をつけたりしないでください。操作時にすべりやすくなったり、アクュポイントキャップが劣化する（溶ける）おそれがあります。アクュポイントキャップがすりきれたら取り換えてください。

携帯電話、無線機など電波を発生する機器が近くにあるときにマウスポインタが移動する場合があります。その場合は、電波を発生する機器を離してください。

また、次の場合、画面上のマウスポインタが移動することがあります。この場合は、マウスポインタが動かなくなるのを待ってから、アクュポイントⅡを使用してください。

- ・電源を入れたとき
- ・一定の力で一定の方向にマウスポインタを移動し続け、指を離れたとき
- ・温度が急激に変化したとき


● モデム

内蔵モデムは、ITU-T V.90 または K56flex に準拠しています。通信先のプロバイダが V.90 または K56flex 以外の場合は、最大 33.6Kbps で接続されます。

モデムの使用方法については、オンラインマニュアルを参照してください。

● 持ち運ぶとき

持ち運ぶときは、誤動作や故障を起こさないために、次のことを守ってください。

- 電源は必ず切ってください。
電源を切った後でも、Disk  LEDが点灯中は動かさしないでください。
- 電源スイッチロックを有効（右側）にしておいてください。
電源スイッチロックを解除して持ち運んだ場合、誤って電源スイッチに力が加わり、電源が入る可能性があります。この場合、バッテリー駆動になりますので、使用するときにはバッテリーが消耗している原因になります。
- 急激な温度変化（寒い屋外から暖かい屋内への持ち込みなど）を与えないでください。
- パソコン本体に周辺機器を接続している場合は、取りはずしてください。
- 落としたり、強いショックを与えないでください。また、日の当たる自動車内に置かないでください。故障の原因になります。

● 仕様について

本製品の仕様は国内向けです。国外で本製品を使用する場合は、電源に合った電源コードをお買い求めください。

ACアダプタは100V～240Vまで使用可能です。

消費電力の仕様は次のとおりです。

最大消費電力：45W

最小消費電力：約2W（電源スイッチオフ時）

パソコンの電源を切った後に、電源コードを抜くと消費電力はゼロになります。

● 消耗品について

次の部品は消耗品です。

● バッテリーパック（充電式リチウムイオン電池）

長時間の使用により消耗し、充電機能が低下します。

充電機能が低下した場合は、別売りのバッテリーパックと交換してください。

● 時計用バッテリー（交換は有償です）

● アクュポイントキャップ（交換は同梱されているものを使用してください）

消耗した場合は、お使いの機種をご確認後、お買い求めの販売店、または保守サービスにご相談ください。

● フロッピーディスクドライブ

市販のクリーニング用品を使って、1ヶ月に1回を目安にクリーニングしてください。

● フロッピーディスク

フロッピーディスクは消耗品です。キズがついた場合は交換してください。
フロッピーディスクを取り扱うときには、次のことを守ってください。

- フロッピーディスクに保存しているデータは、万一故障が起こったり、消失した場合に備えて、定期的に複製を作って保管するようにしてください。
フロッピーディスクに保存した内容の障害については、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。
- シャッター部を開けて磁性面を触らないでください。
汚れると使用できなくなります。
- スピーカなど強い磁気を発するものに近づけないでください。
記録した内容が消えるおそれがあります。
- 直射日光に当てたり、高温のものに近づけないでください。
- 本やノートなど重いものを上に置かないでください。
- 使用場所、保管場所の温度は次のとおりです。

環境	使用時	保管時
温度	5~35℃	4~53℃

- ラベルは正しい位置に貼ってください。
貼り替えるときに重ね貼りをしないでください。
- ホコリの多い場所、タバコの煙が充満している場所に置かないでください。
- 保管の際は、プラスチックケースに入れてください。
- 食べ物、タバコ、消しゴムのカスの近くにフロッピーディスクを置かないでください。
- 3.5型フロッピーディスクは当社の次の製品をお使いください。
他のフロッピーディスクは、規格外などで使用できなかったり、フロッピーディスクドライブの寿命を縮めたり、故障の原因となる場合があります。

製品番号	形式
M4293	2HD形式
M4216	2DD形式

● コンパクトディスク (CD)

CDの内容は故障の原因にかかわらず保証いたしかねます。製品を長持ちさせ、データを保護するためにも、次のことを必ず守ってお取り扱いください。

- CDを折り曲げたり、表面を傷つけたりしないでください。CDを読み込むことができなくなります。
- CDを直射日光が当たるところや、極端に暑かったり寒かったりする場所に置かないでください。また、CDの上に重いものを置かないでください。
- CDは専用のケースに入れ、清潔に保護してください。
- CDを持つときは、外側の端か、中央の穴のところを持つようにしてください。表面に指紋をつけてしまうと、正確にデータが読み取れなくなることがあります。
- CDの表面に文字などを書かないでください。
- CDが汚れたりホコリをかぶったりしたときは、乾燥した清潔な布で拭き取ってください。

円盤に沿って環状に拭くのではなく、円盤の中心から外側に向かって直線状に拭くようにしてください。もし乾燥した布では拭き取れない場合は、水か中性洗剤で湿らせた布を使用してください。

ベンジンやシンナーなどの薬品は使用しないでください。

● データのバックアップについて

重要な内容は必ず、定期的にバックアップをとって保存してください。

本製品は次のような場合、スタンバイまたは休止状態が無効となり、本体内の記憶内容が変化し、消失するおそれがあります。

- ・ 誤った使いかたをしたとき
- ・ 静電気や電氣的ノイズの影響を受けたとき
- ・ 長時間使っていなかったために、バッテリー（バッテリーパック、時計用バッテリー）の充電量がなくなったとき
- ・ 故障、修理、バッテリー交換のとき
- ・ 電源を切った直後にすぐ電源を入れたとき
- ・ バッテリー駆動で使用しているときにバッテリーパックを取りはずしたとき
- ・ 増設メモリの取り付け／取りはずしをしたとき

記憶内容の変化／消失など、ハードディスクやフロッピーディスクに保存した内容の損害については、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご承知ください。

1

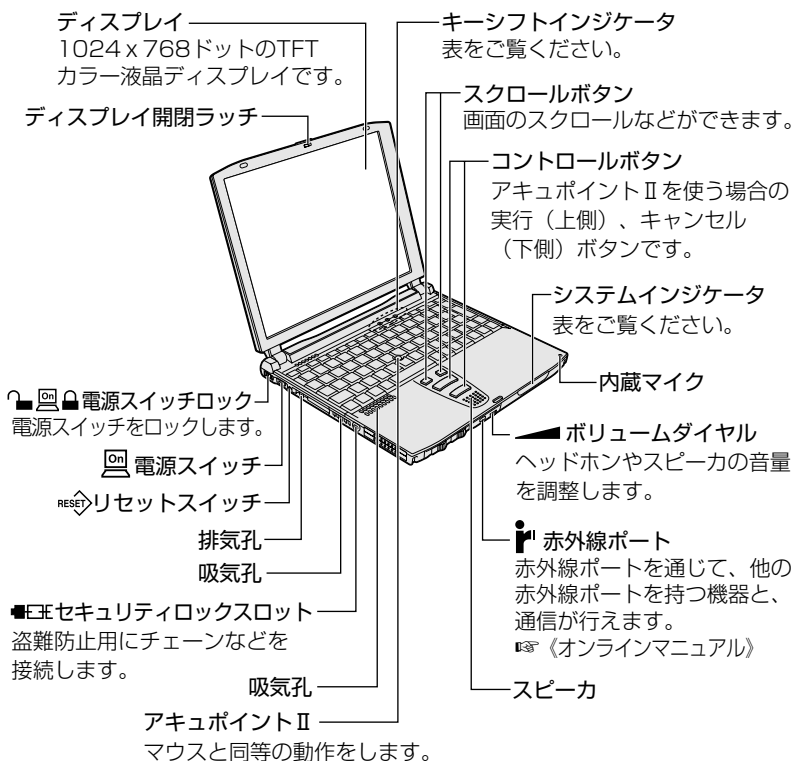
電源を入れる前に

本章では、パソコンの電源を入れる前に、必要な準備について説明します。


1	各部の名称	24
2	周辺機器の接続場所	27
3	パソコンの準備	29
4	バッテリーの充電	32
5	アキュポイントIIと コントロールボタンの使いかた	35
6	キーボード	36
7	サウンド	44


1 各部の名称

ここでは、各部の名称と機能を簡単に説明します。
各部についての詳しい説明は、それぞれに関連する章で行います。



システム インジケータ		DC IN LED	電源コードの接続 ☞「本章 3-3 電源に関する表示」
		Power LED	電源の状態 ☞「本章 3-3 電源に関する表示」
		Main Battery LED	バッテリーの状態 ☞「本章 4-3 バッテリーに関する表示」
		大容量バッテリー LED	大容量バッテリー (別売り) の状態 ☞「本章 4-3 バッテリーに関する表示」
		Disk LED	ハードディスクドライブにアクセスしている
キーシフト インジケータ		Caps Lock LED	文字入力の「大文字ロック状態」 ☞「本章 6-入力に関する制御キー」
		Arrow Mode LED	文字入力の「アロー状態」 ☞「本章 6-[Fn]キーを使った特殊機能キー」
		Numeric Mode LED	文字入力の「数字ロック状態」 ☞「本章 6-[Fn]キーを使った特殊機能キー」

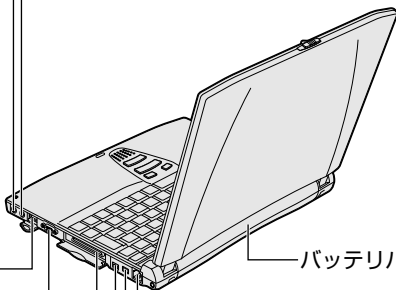
 **マイク入力端子**
マイクロホンを接続
します。


 **ヘッドホン出力端子**
ヘッドホンを接続します。音源はステレオで出力されます。
ヘッドホンはステレオミニジャックタイプ (3.5φ) を使
用してください。




お気付き


- ・ 次のような場合にはヘッドホンを目からはずしてくだ
さい。雑音が発生する場合があります。
- ・ パソコン本体の電源を入れるとき
- ・ パソコン本体の電源を切るとき
- ・ ヘッドホンを取り付ける／取りはずすとき




 **USBコネクタ**

バッテリーパック

 **RGBコネクタ**

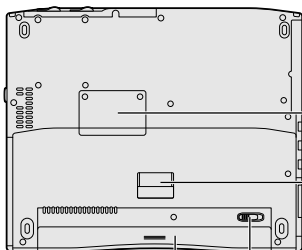
 **モジュラージャック**


モジュラーケーブルで本体を電話回線に
接続し、モデム機能を使用します。


 **拡張コネクタ**


 **電源コネクタ**

 **i.LINK (IEEE1394) コネクタ**

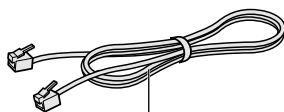
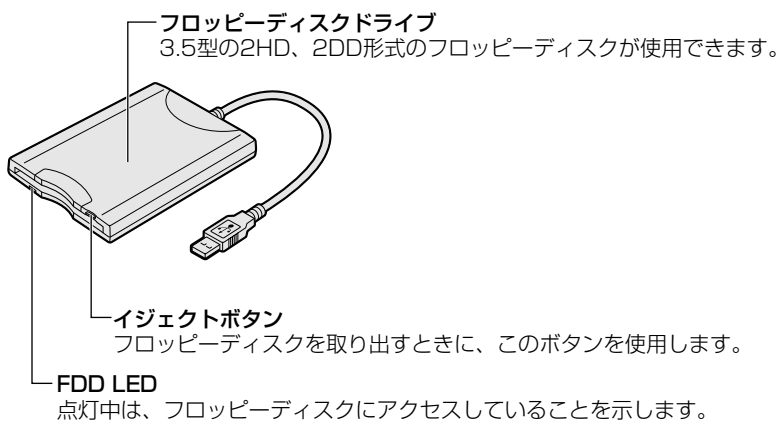
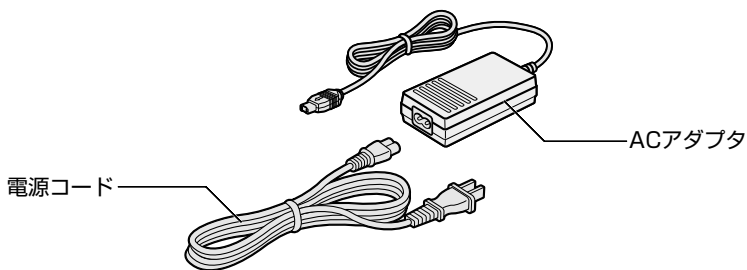


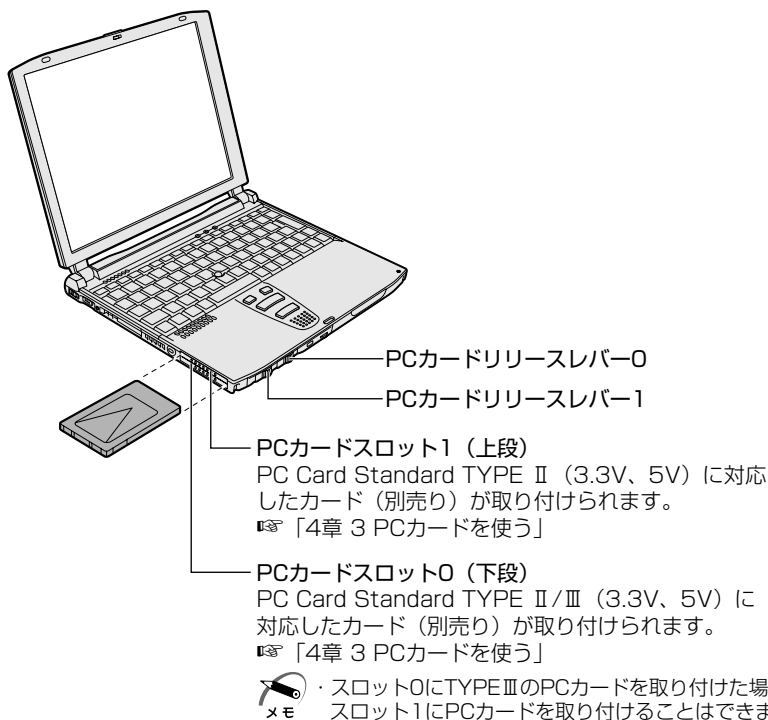
 **増設メモリスロット**

 **大容量バッテリー接続コネクタ**
別売りの大容量バッテリーを接続できます。
☞ 「3章 2 大容量バッテリーを使う」

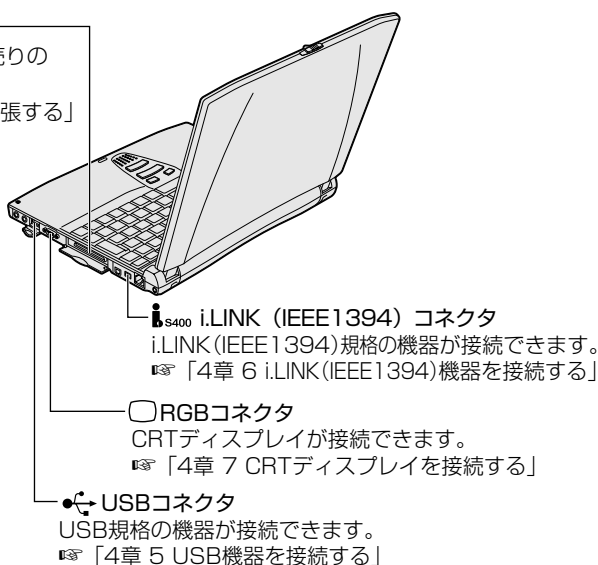
 **バッテリー・リリースラッチ**
バッテリーパックを取りはずすときに操作します。
☞ 「3章 1-4 バッテリーパックを交換する」

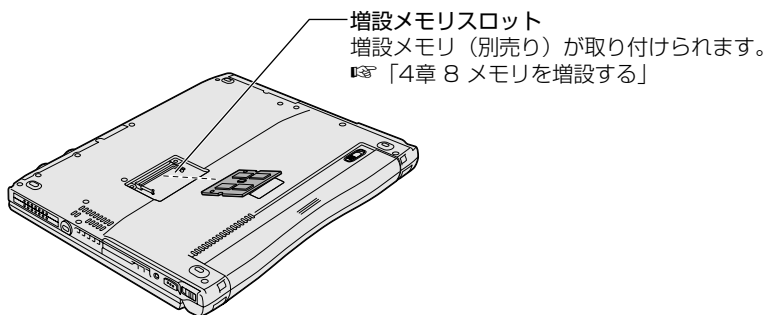
バッテリーパック



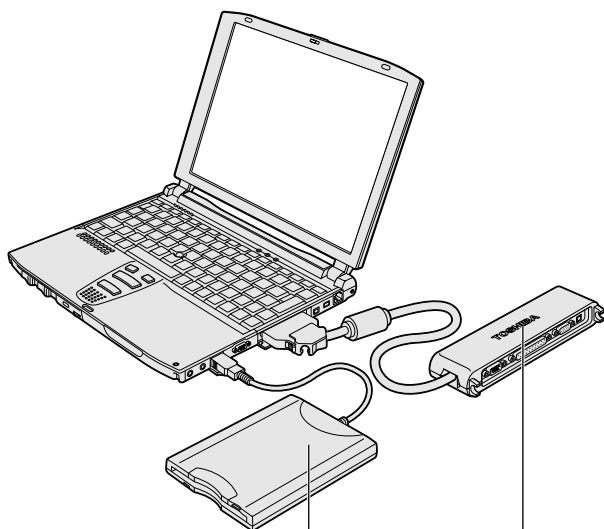


☞ 拡張コネクタ
I/Oアダプタなど別売りの機器を接続します。
☞ 「4章 2 機能を拡張する」





増設メモリスロット
増設メモリ（別売り）が取り付けられます。
☞ 「4章 8 メモリを増設する」



USBフロッピーディスクドライブ
☞ 「4章 4 フロッピーディスクを使う」

I/Oアダプタ（別売り）
拡張コネクタには別売りの機器（I/Oアダプタ、ミニI/Oアダプタ、マルチメディアポートリプリケータのいずれか）を取り付けることができます。
☞ 「4章 2 機能を拡張する」

3 パソコンの準備

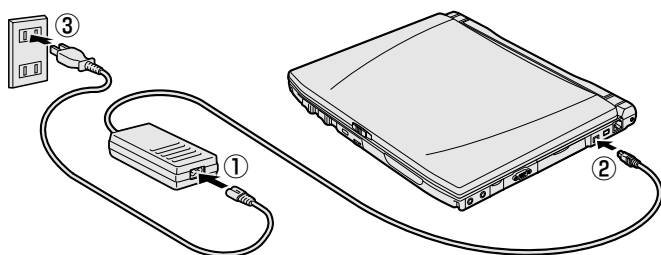
ここでは、電源を入れる前に必要な準備について説明します。

1 電源に接続する

● 接続方法

パソコン本体に電源を供給するときは、バッテリーパックを必ず取り付けておいてください。

接続は次の図の①→②→③の順に行います。②のとき、ACアダプタのプラグの矢印(⇨)を下にして接続してください。はずすときは逆の③→②→①の順で行います。



● 取り扱い方法

電源コード、ACアダプタの取り扱いについては次のことを守ってください。



警告

- ・必ず本体付属のACアダプタを使用してください。本体付属以外のACアダプタをご使用になりますと、電圧や+-の極性が異なっていることがあるため、発煙、火災のおそれがあります。
- ・付属の電源コードでは、AC100V以外の電源コンセントには絶対に電源プラグを差し込まないでください。発煙、火災のおそれがあります。
- ・傷ついたり、破損したり、加工した電源コードや電源プラグは使わないでください。感電、火災、やけどのおそれがあります。
- ・電源コードを無理に折り曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、重いものを載せたりしないでください。ショート、断線による火災や感電のおそれがあります。



注意

- ・電源コードのプラグを電源コンセントから抜く場合は、必ずプラグ部分を持って抜いてください。電源コードを引っ張ると、コードが破損し、火災や感電のおそれがあります。
- ・ぬれた手で、電源コードのプラグを抜き差ししないでください。感電のおそれがあります。



お願い

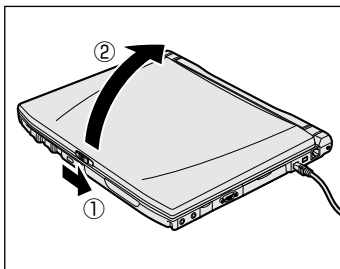
- ・ACアダプタをパソコン本体に接続しないときは、電源コードをコンセントに接続しないでください。

ACアダプタを接続していると、ACアダプタやバッテリーが温くなることがあります。故障ではありません。

② ディスプレイを開ける

1 ディスプレイ開閉ラッチをスライドし①、ディスプレイを静かに起こす②



このとき、両手を使ってゆっくり起こしてください。







注意

- ・ディスプレイを閉じる場合は静かに閉じてください。
ディスプレイを強く閉じると、衝撃でハードディスクドライブなどが故障するおそれがあります。
ハードディスクの磁性面にキズが付いて、使えなくなることがあります。磁性面に付いたキズの修理はできません。

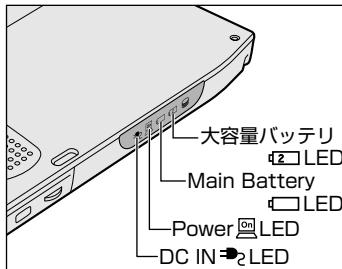
3 電源に関する表示

電源に接続すると、DC IN  LED、Main Battery  LEDが点灯します。



大容量バッテリー（別売り）を取り付けている場合は、大容量バッテリー  LEDも点灯します。

 Main Battery  LED、大容量バッテリー  LEDについて
 ⇨ 「本章 4-3 バッテリーに関する表示」

電源を入れるとPower  LEDが点灯します。



それぞれのインジケータの色は次のことを表しています。

	LEDの状態	パソコン本体の状態
DC IN  LED	緑	ACアダプタから電力が供給されている
	オレンジ点滅	異常警告 バッテリー、ACアダプタ またはパソコン本体に異常
	消灯	ACアダプタから電力が供給されていない
Power  LED	緑	電源ON
	オレンジ点滅 (ゆっくり)	スタンバイ中
	消灯	電源OFF

4 バッテリーの充電

1 バッテリー駆動で使うために

パソコン本体には、バッテリーパックが内蔵されています。

バッテリーを充電して、バッテリー駆動（ACアダプタを接続しない状態）で使うことができます。

バッテリー駆動で使う場合は、ACアダプタを接続してバッテリーの充電を完了（フル充電）させます。または、フル充電したバッテリーパックを取り付けます。




充電を完了（フル充電）しなくてもバッテリー駆動で使えますが、使用できる時間は短くなります。

2 バッテリーの充電

ここでは、充電方法とフル充電になるまでの充電時間について説明します。


● 充電方法


1 パソコン本体に AC アダプタを接続し、電源コードをコンセントにつなぐ



DC IN  LED が緑色に点灯して Main Battery  LED、大容量バッテリー  LED（大容量バッテリーを取り付けている場合）がオレンジ色に点灯すると、充電が開始されます。

パソコン本体に AC アダプタを接続すると、電源の ON/OFF に関わらず常時充電されます。

2 Main Battery LED が緑色になるまで通電する

バッテリーが充電中は Main Battery  LED がオレンジ色に点灯します。

DC IN  LED が消灯している場合は、電源が供給されていません。AC アダプタ、電源コードの接続を確認してください。

 Main Battery  LED について ⇨ 「本節 3 バッテリーに関する表示」



・標準バッテリーパックと大容量バッテリーの両方を接続しているときは、標準バッテリーパックから充電が開始されます。

● 充電時間

充電時間の目安は次のとおりです。

取り付けているバッテリー	電源ON	電源OFF
標準バッテリーパック	約 2～4 時間	約 2 時間
標準バッテリーパックと大容量バッテリーの両方	約 6～16 時間	約 6 時間

(注) 周囲の温度が低いときや周辺機器を取り付けているときなど、パソコンの使用状況によってはこの時間よりも長くかかることがあります。



警告

- ・バッテリーパックの使用中、充電中、保管時に異臭・発熱・変色・変形など異常が発生した場合は、電源を切り、電源コードをコンセントから抜き、お買い求めの販売店または、お近くの保守サービスに点検を依頼してください。



注意

- ・バッテリーパックの充電温度範囲内（10～30℃）で充電してください。充電温度範囲内で充電しないと、液もれや発熱、性能や寿命が低下するおそれがあります。
- ・バッテリーパックを水や海水につけたり、ぬらしたりしないでください。発熱したり、サビなどのおそれがあります。
- ・バッテリーパックをお買い上げ後、初めて使用する場合にサビ、異臭、発熱などの異常と思われるときは使用しないでください。お買い求めの販売店または、お近くの保守サービスに点検を依頼してください。

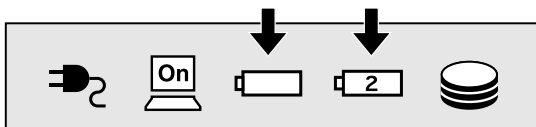
3 バッテリーに関する表示

● Main Battery LED で確認する

次のシステムインジケータの図で矢印の付いているものが、バッテリーの状態を示すアイコンです。

なお、大容量バッテリーは別売りです。

☞ 大容量バッテリーについて ☞ 「3章 2 大容量バッテリーを使う」

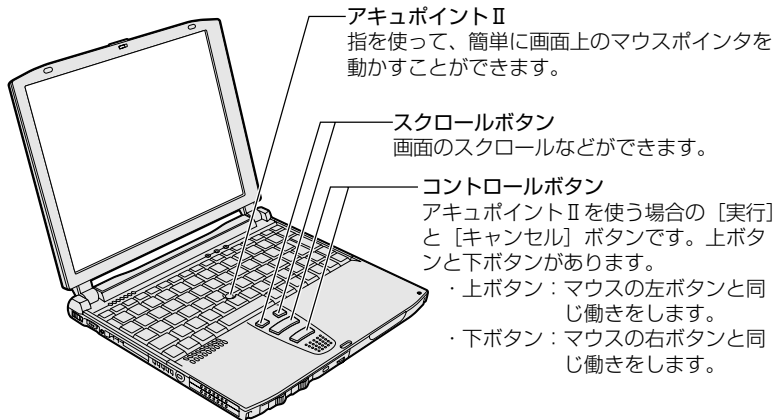


それぞれのインジケータの色は次の状態を示しています。

	LEDの状態		パソコン本体の状態
Main Battery  LED	緑		充電完了 (ACアダプタ接続時)
	オレンジ	点灯	充電中
		点滅	充電必要
消灯			バッテリーパックが取り付けられていない ACアダプタが接続されていない バッテリーパックに異常
大容量バッテリー  LED (大容量バッテリー接続時)	緑		充電完了 (ACアダプタ接続時)
	オレンジ	点灯	充電中
		点滅	充電必要
消灯			大容量バッテリーが取り付けられていない ACアダプタが接続されていない 大容量バッテリーに異常 充電していない

☞ バッテリーの詳細について ☞ 「3章 パソコンを持ち歩く」

本製品には、マウスと同じ働きをするアキュポイントII、2つのコントロールボタンおよびスクロールボタンが装備されています。



基本操作

キーボード中央の、アキュポイントIIに指を置きます。アキュポイントIIを押さえながら上下左右に動かすと、マウスポインタが移動します。

クリック	アキュポイントIIでマウスポインタを合わせて、上ボタンまたは下ボタンを1回押します。
ダブルクリック	アキュポイントIIでマウスポインタを合わせて、上ボタンまたは下ボタンを、すばやく2回続けて押します。
ドラッグアンドドロップ	上ボタンまたは下ボタンを押したまま、アキュポイントIIでマウスポインタを移動します（ドラッグ）。ドラッグの操作の最後に、目的の場所でボタンから指を離します（ドロップ）。
スクロール	画面を上下に動かす動作のことをいいます。スクロールボタンを押すと、画面がスクロールします。



お願ひ

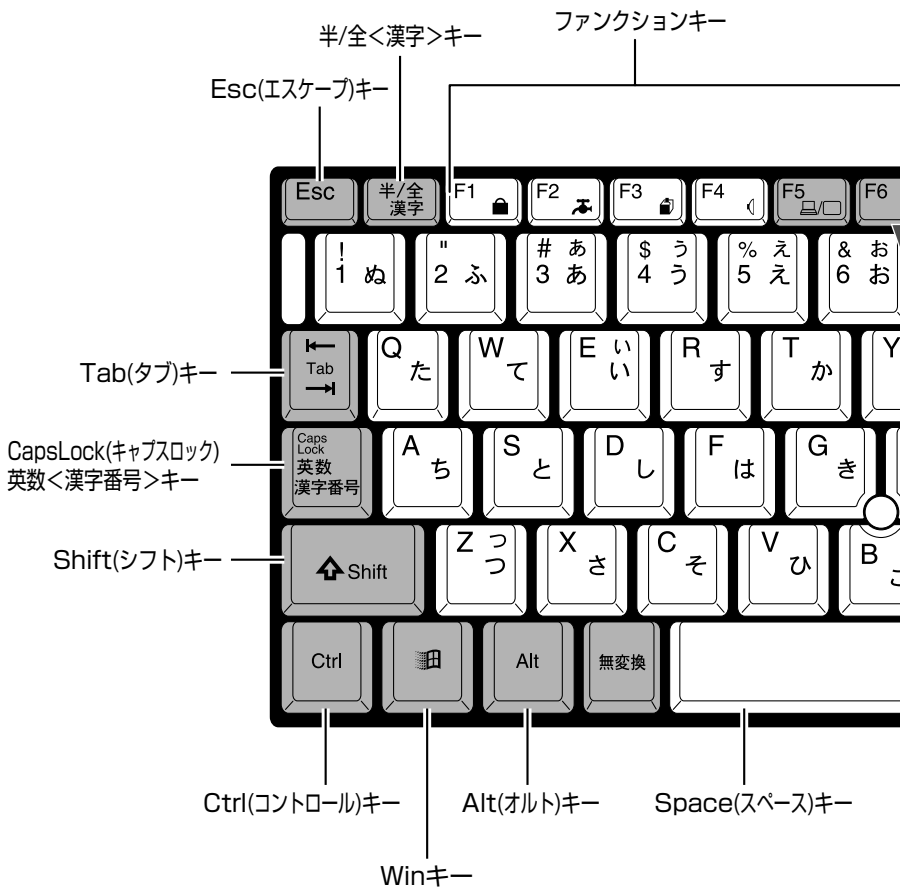
・次の場合、アキュポイントIIを操作していなくても、画面上のマウスポインタが移動することがあります。

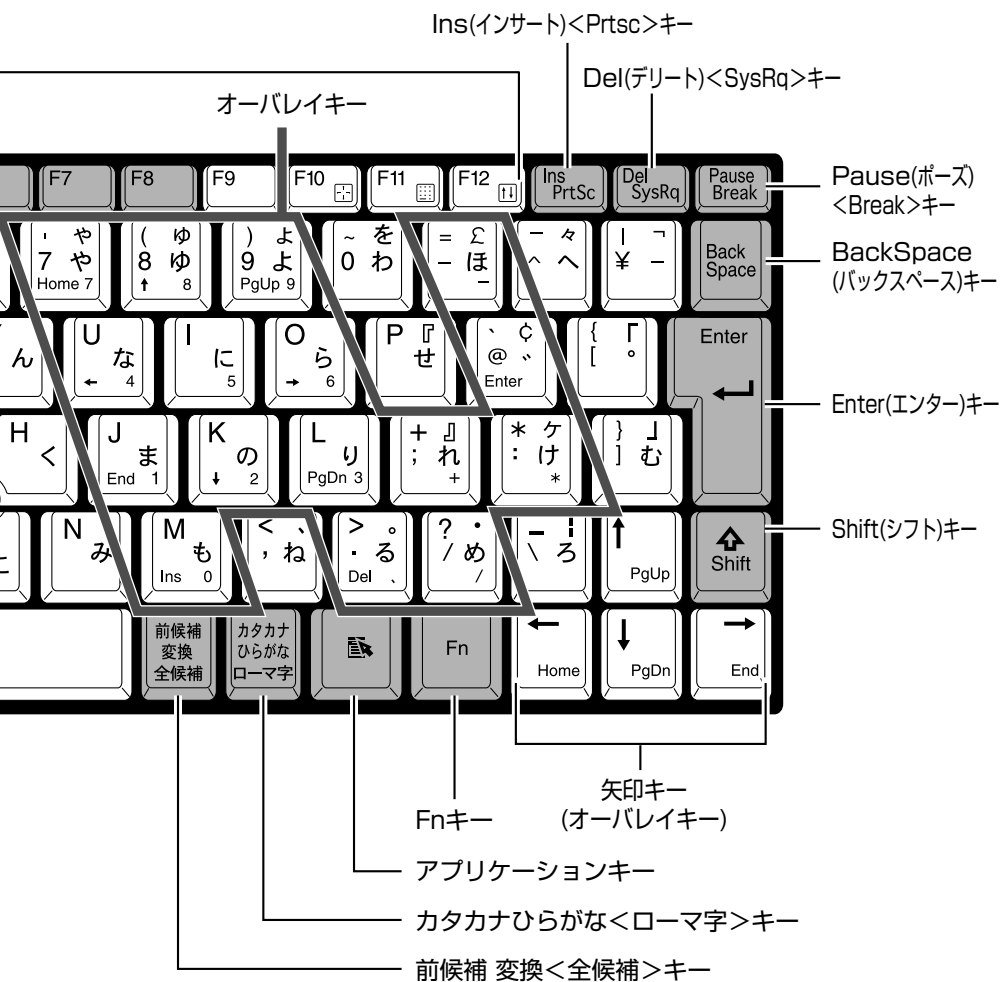
- ・電源を入れたとき
- ・一定の力で一定の方向にマウスポインタを移動し続け、指を離れたとき

この場合は、10秒以上待つてから、アキュポイントIIを使用してください。

6 キーボード

キーボードの使いかたはソフトウェアによって違ってきますが、ここでは基本的な使いかたと、それぞれのキーの意味や呼びかたについて簡単に説明します。





● 文字キー

文字や記号を入力するときに使うキーを「文字キー」と呼びます。文字キーには2～6種類の文字・記号が印刷されていますが、どの文字・記号が入力されるかは制御キーとの組み合わせなどで異なります。文字キーに印刷された文字・記号を入力する場合の操作について、次の文字キーを例に説明します。

















入力したい文字・記号	入力操作	内容
左上の文字・記号	[Shift]キーを押しながら押す	記号やアルファベットの大文字（この場合は「 ` 」）が入力できます。 ☞ 「本節 - 主なキーの呼びかたと役割」
右上の文字・記号	カナロック状態で [Shift]キーを押しながら押す	記号やカタカナの促音、拗音（この場合は「 ` ` ` ` 」）が入力できます。 ☞ 「本節 - 入力に関する制御キー」
左中の文字・記号	そのまま押す	数字やアルファベットの小さい文字（この場合は「 7 」）が入力できます。
右中の文字・記号	カナロック状態で押す	カタカナや記号（この場合は「 ` ` ` ` 」）が入力できます。 ☞ 「本節 - 入力に関する制御キー」
左下の文字・記号	アロー状態のときに押す	カーソル制御キー（この場合は[Home]キー）として使えます。 ☞ 「本節 - [Fn]キーを使った特殊機能キー」
右下の文字・記号	数字ロック状態のときに押す	テンキー（この場合は「 7 」）として使えます。 ☞ 「本節 - [Fn]キーを使った特殊機能キー」



メモ

- ・ ` (チルダ) を入力する場合は、[Shift]キー + [` ` ` `]キーを入力してください。[Shift]キー + [` ` ` `]キーを押しても入力できません。
- ・ \ (バックスラッシュ) を入力すると、「¥」が表示されますが、同じ機能を持ちます。
- ・ キーボードに印刷されている「£」「¢」「々」などの文字は直接入力できません。お使いの『日本語入力システムに付属の説明書』をご覧ください。



● 主なキーの呼びかたと役割

キー	内容
 (エスケープ)	操作を取り消すときに使います。
 (シフト)	アルファベットの英大文字、英小文字の選択などをします。
 (オルト)	他のキーと組み合わせて、特定の操作を実行するときなどに使います。
 (コントロール)	
 (ウィン)	Windows のスタートメニューを表示するときに使います。また、他のキーと組み合わせて、ショートカットとして使うこともできます。
 (スペース)	空白文字を入力するときに使います。
 (アプリケーション)	マウスの右ボタンおよびコントロールボタンの下ボタンをクリックすることと同様の動作を行いたいときに使います。
 (エフエヌ)	オーバレイキーを使用するときに使用します。
 (インサート)	文字の入力モードを挿入／上書きに切り替えるときに使います。
 (デリート)	文字を削除するときなどに使います。
 (矢印)	カーソル移動などに使います。
 (エンター)	作業を実行するときなどに使います。
 ~  (ファンクション)	特定の操作を実行するときなどに使います。

上の表の各内容は、お使いの日本語入力システムやアプリケーションにより変わることがあります。

● 入力に関する制御キー

キー入力で、よく使う制御キーは次のものがあります。


キー	内容
 Me [Ctrl] + [CapsLock 英数]	カナロック状態になります。この状態で文字キーを押すと、キートップ右中に印刷されたひらがなを、カタカナで入力できます。
 2000 [Ctrl] + [Shift] + [カタカナひらがな]	
[Shift] + [CapsLock 英数]	大文字ロック状態になります。この状態で文字キーを押すと、キートップ左上に印刷された英字などの文字を、大文字で入力できます。

カナロックや大文字ロック状態を解除するには、もう一度同じキー操作をします。


ロック状態の優先度は、カナロック状態>大文字ロック状態です。










● [Fn] キーを使った特殊機能キー

[Fn] + [F1] 《インスタントセキュリティ機能》	キーボードをロックし、画面を消します。 ロックを解除するには、次のように操作します。 パスワードを設定している場合： パスワードを入力し、[Enter]キーを押す パスワードを設定していない場合： [Enter]キーまたは [F1] キーを押す パスワードは、「東芝 HW セットアップ」で設定します。 ☞ 「5章 2 東芝 HW セットアップ」
[Fn] + [F2] 《省電力モードの設定》	[Fn] キーを押したまま、[F2] キーを押すたびに「東芝省電力ユーティリティ」の省電力モードを切り替えます。
[Fn] + [F3] 《電源 ON / OFF 時に使用する機能の選択》	[Fn] キーを押したまま、[F3] キーを押すたびに電源オフ、スタンバイ、休止状態の3種類に電源を切る状態が切り替わります。 電源ボタンを押すと選択した状態で電源が切れます。

<p>[Fn] + [F4] 《アラーム音量の調節》</p>	<p>[Fn] キーを押したまま、[F4] キーを押すたびにアラーム音量が変わります。 ↑オフ→小→中→大↓</p>
<p>[Fn] + [F5] 《表示装置の切り替え》</p>	<p>[Fn] キーを押したまま、[F5] キーを押すたびに現在の順序から、次の順で表示が切り替わります。 ↑内部→同時→外部↓</p> <p>画面のプロパティでも切り替えることができます。表示装置の設定は「東芝 HW セットアップ」の [Display] タブで行います。  「4章 7 CRT ディスプレイを接続する」</p>
<p>[Fn]+[F10] (アロー状態) 《オーバーレイ機能》</p>	<p>キートップ左下に灰色で印刷された、カーソル制御キーとして使用できます。 アロー状態を解除するには、もう1度 [Fn]+[F10] キーを押します。</p>
<p>[Fn]+[F11] (数字ロック状態) 《オーバーレイ機能》</p>	<p>キートップ右下に灰色で印刷された、数字などの文字を入力できます。 数字ロック状態を解除するには、もう1度 [Fn]+[F11] キーを押します。</p>
<p>[Fn]+[F12] (スクロールロック状態)</p>	<p>一部のアプリケーションで ↑ ↓ ← → キーを画面スクロールとして使用できます。 スクロールロック状態を解除するには、もう1度 [Fn]+[F12] キーを押します。</p>
<p>[Fn] + ← → ↑ ↓</p>	<p>キートップ右下に灰色で印刷された、[Home]、[End]、[PgUp]、[PgDn] キーとして使用できます。</p>



● キーを使ったショートカットキー

 キーと他のキーとの組み合わせにより、次のようにショートカットとして使用できます。

キー	操作
 + [R]	[ファイル名を指定して実行] 画面を表示する
 + [M]	すべてをアイコン化する
[Shift] +  + [M]	すべてのアイコン化を元に戻す
 + [F1]	Windows のヘルプを起動する
 + [E]	[マイコンピュータ] 画面を表示する
 + [F]	ファイルまたはフォルダを検索する
[Ctrl] +  + [F]	他のコンピュータを検索する
 + [Tab]	タスクバーのボタンを順番に切り替える
 + [Break]	[システムのプロパティ] 画面を表示する

● 特殊機能キー

複数キーの組み合わせで、特殊機能を実行することができます。

特殊機能	キー	内 容
システムの再起動	[Ctrl] + [Alt] + [Del]	 プログラムの強制終了画面が表示されます。再度同じキーを押すと、システムを再起動します。  Windows のセキュリティ画面が表示されます。
画面印字	[Fn] + [Ins]	現在表示中の全体画面をクリップボードにコピーします。
	[Alt] + [Fn] + [Del]	現在実行中のアクティブな画面をクリップボードにコピーします。



お願い


・ Windows Me の場合、システムが操作不能になったとき以外は [Ctrl] + [Alt] + [Del] キーは使用しないでください。データが消失するおそれがあります。

● 日本語入力システム

本製品には、Microsoft 社製の日本語入力システム MS-IME が標準装備されています。

● 日本語入力システムの起動

漢字変換が行えるように日本語入力システム MS-IME を起動するには、次の方法があります。

-  キーを押す




—ここをクリックし、メニューから「ひらがな」を選択する

- タスクバーの  をクリックし、「ひらがな」を選択する


漢字変換が行えるようになると、ツールバーは次のようになります。




● 入力モード

ローマ字入力が既定値になっています。かな入力に切り替える場合は、ツールバーのプロパティアイコン () をクリックし、[全般] タブで [ローマ字入力/かな入力] の設定を変更してください。

ローマ字入力とかな入力の切り替えは、次の方法でも可能です。

 **Me** **[Alt] + [カタカナひらがな]**

 **2000** **[Ctrl] + [Shift] + [カタカナひらがな]**

● 漢字変換


入力した文字を漢字変換するには、**[Space]** キーを押します。

目的の漢字ではない場合は、もう一度 **[Space]** キーを押して、他の漢字を表示します。さらに **[Space]** キーを押すと、候補の一覧が表示されます。

[↑] **[↓]** キーで選択し、**[Enter]** キーを押します。

 MS-IME の使いかた ⇨ 『MS-IME のオンラインヘルプ』



・MS-IME のオンラインヘルプを見るには、ツールバーのヘルプアイコン () をクリックし、メニューから [目次とキーワード] をクリックします。

7 サウンド

本製品はサウンド機能を内蔵し、スピーカを用意しています。

1 スピーカの音量を調整する

標準で音声、サウンド関係のアプリケーションがインストールされています。サウンド機能は Microsoft Windows Sound System、および Sound Blaster Pro に適合しています。

サウンドに関する設定についてはあわせて『Windows のヘルプ』をご覧ください。

● ボリュームダイヤルで調整する

本体前面のボリュームダイヤルで調整します。

音量を大きくしたいときには右に、小さくしたいときは左に回します。

🔊 ボリュームダイヤル ⇨ 「1 章 1 各部の名称」

● [音量] アイコンから調整する

タスクバーの [音量] アイコン (🔊) からスピーカの音量を調整することもできます。

- 1 タスクバー上の [音量] アイコン (🔊) をクリックする
次の画面が表示されます。



2 つまみを上下にドラッグして調整する

つまみを上にするとスピーカの音量が上がります。



メモ

- ・ [ミュート] をチェックすると消音となります。
- ・ 使用するアプリケーションによっては、外部マイクとスピーカでハウリングを起こし、高く大きな音が発生することがあります。この場合は、次のようにしてください。
 - ・ 本製品のボリュームダイヤルで音量を調整する
 - ・ 使用しているアプリケーションの設定を変える
 - ・ 外部マイクをスピーカから離す

● ボリュームコントロールで調整する

1 タスクバー上の [音量] アイコン () をダブルクリックする

または

[スタート] - [プログラム] - [アクセサリ] - [エンターテイメント] - [ボリュームコントロール] をクリックする

ボリュームコントロールが起動します。

2 それぞれのつまみを上下にドラッグして調整する

つまみを上にするとスピーカの音量が上がります。 [ミュート] をチェックすると消音となります。

詳しくは、ボリュームコントロールのヘルプをご覧ください。

② システムスピーカについて

パソコンのハードウェアの状態を知らせるシステムスピーカがあります。システムスピーカを鳴らす／鳴らさないを設定できます。ご購入時は鳴らす設定になっています。また、音量の調整もできます。

● 設定方法

1 [スタート] - [設定] - [コントロールパネル] をクリックする

2 [東芝 HW セットアップ] をダブルクリックする



[コントロールパネル] 画面に [東芝 HW セットアップ] アイコンが表示されていない場合は、画面左の [すべてのコントロールパネルのオプションを表示する。] をクリックしてください。

3 [Hardware Alarm] タブで設定する

鳴らす場合は [System Beep] をチェックします。

音量は [Alarm Volume] のスライダーバーで調整します。



・システムスピーカの音量の調整は、[Fn] + [F4] キーを使用して変更することもできます。

☞ 「本章 6- [Fn] キーを使った特殊機能キー」

2

電源を入れて切るまで

電源を入れて、パソコンがシステムを組み込むまでを、
「パソコンの起動」といいます。

本章では、パソコンの起動と電源を切って終了する方法について説明します。

1	電源を入れる	48
2	初めて電源を入れるとき	51
3	電源を切る	67
4	オンラインマニュアルの起動	77


1 電源を入れる

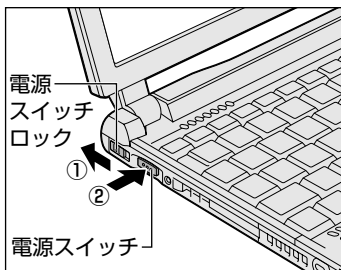
1 周辺機器を接続している場合は、周辺機器の電源を入れる
フロッピーディスクドライブを接続している場合は、フロッピーディスクが入っていないことを確認してください。

2 ディスプレイを開く

パソコンの設定によっては、ディスプレイを開くと自動的に電源を入れることができます。その場合は手順3の操作は不要です。

3 電源スイッチロックを解除 (🔓)
し①、電源スイッチを押す②

電源が入ると、Power  LED が緑色に点灯します。




初めて電源を入れた場合は、[Windows セットアップの確認] の画面が表示されます。表示されるメッセージに従って、ご使用のシステムのセットアップを行なってください。

🔊 セットアップの方法について ⇄ 「本章 2 初めて電源を入れるとき」

スタンバイまたは休止状態が設定されている場合は、電源を切る前の状態が再現されます。



メモ

- ・スタンバイ機能／休止状態とは、次に電源を入れたとき、終了した時点から作業が行える機能です。スタンバイ機能は電源を切る前の状態をメモリに保持し、休止状態はハードディスクに保持します。
- ・スタンバイ機能を実行して電源を切ると、Power  LED がゆっくりとオレンジ色に点滅します。

これらの機能を実行しない場合には、Windows の起動画面が表示されます。

4 電源スイッチロックを有効 (🔒) にする

誤操作を防ぐために、電源スイッチをロックしておいてください。

● パスワードが設定されている場合

パスワードを設定している場合は、電源を入れると次のメッセージが表示されます。

Password =

設定したパスワードを入力し、**[Enter]**キーを押してください。



メモ

- ・スタンバイ機能、または休止状態を実行している場合は、電源を入れた直後に表示されます。
- ・パスワードの入力ミスが3回繰り返した場合は自動的に電源が切れます。スタンバイ機能または休止状態を実行している場合は、設定した状態に戻ります。

● 次のメッセージが表示される場合

次のようなメッセージが表示されることがあります。主なメッセージとその対処方法を示します。

(1) Bad ×××× ××××

この場合は、**[F1]**キーを押してセットアップ画面を表示させます。

[Fn]+[←]キーを押して標準に設定してください。その後、**[Fn]+[→]**キーを押して終了し、**[Y]**キーを押して再起動してください。標準設定の状態になります。

(2) WARNING:×××××

この場合は、**[Enter]**キーを何回か押してください。

(3) WARNING:RESUME FAILURE
PRESS ANY KEY TO CONTINUE

スタンバイ機能によるシステム起動ができない、というメッセージです。電源を切る前の状態は再現できません。

この場合は、どれかキーを押してください。

☞ スタンバイ機能 ⇨ 「本章 3 電源を切る」

(4)

Previous resume from hibernate failed
Would you like to try again [Enter=Y, Esc=N]?

休止状態からの復元ができないというメッセージです。電源を切る前の状態は再現できません。

この場合は、`[Esc]`キーを押してください。

☞ 休止状態 ⇨ 「本章 3 電源を切る」

2 初めて電源を入れるとき

パソコン本体の電源を初めて入れるときは、Windows を使えるようにするために、「Windows セットアップ」という操作が必要です。1度 Windows のセットアップをすれば、以降は電源を入れるとすぐに Windows を使用することができます。

本製品には、Windows Me モデルと Windows 2000 モデルがあります。セットアップの方法については、お買い上げになったモデルの手順をご覧ください。

また、カスタム・リカバリ CD / リカバリ CD でシステムの復元を行なった場合にも、「Windows セットアップ」の作業が必要です。

☞ 「6章 再セットアップ」



お願い

- ・「Windows セットアップ」は AC アダプタと電源コードを接続し、コンセントにつないで行なってください。
 - ☞ 電源の接続方法について ⇨ 「1章 3-1 電源に接続する」
- ・「Windows セットアップ」を行わないと、あらかじめインストールされている Windows やアプリケーションを使用することはできません。
- ・「Windows セットアップ」の動作中は、電源を切らないでください。



メモ

- ・「Windows セットアップ」を行う前に、30分以上キーを押さない（アキュポイントIIの操作も含む）場合、画面に表示される内容が見えなくなりますが、故障ではありません。画面に表示するには、**[Shift]**キーを押すか、アキュポイントIIやマウスを動かしてください。

1 Windows Meのセットアップ

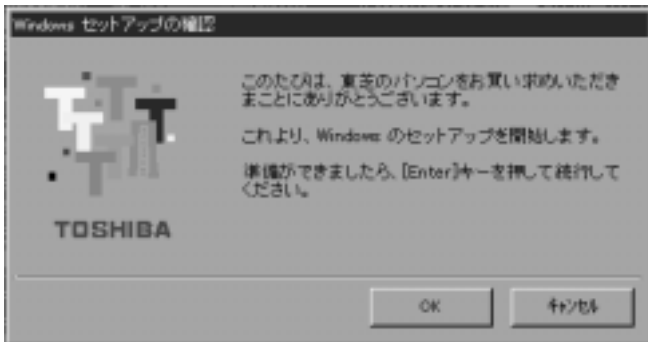


メモ

プロダクトキー

・Product Key がパソコン本体に貼られているラベルに印刷されています。このラベルは絶対になくさないでください。再発行はできません。紛失した場合、Microsoft 社からの保守が受けられなくなります。

初めて電源を入れると、[Windows セットアップの確認] 画面が表示されます。



1 [Enter]キーを押す

Windows のセットアップが開始されます。

パソコンが再起動し、[Windows パスワードの入力] 画面が表示されます。

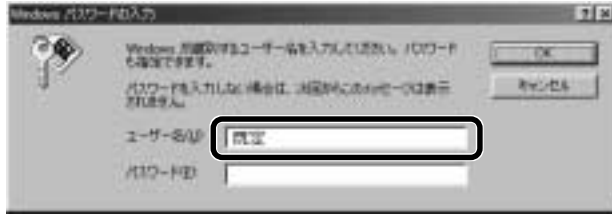
2 ユーザー名を入力する

[Shift]+[Tab]キーを押すと、カーソルがユーザー名に移動します。

[Del]キーを押して「既定」を削除します。

ユーザー名はひらがな、漢字、半角英数文字が使用できます。

ひらがなや漢字を入力するには、日本語入力システムを起動します。[半/全]キーを押してください。



●ひらがなや漢字の入力のしかた

標準状態での入力方法は、ローマ字入力です。

例：“なかた”または“中田”と入力する場合

① [N][A][K][A][T][A] とキーを押す

“なかた”と表示されます。入力ミスをした場合は、

[BackSpace]キーを押して入力ミスした文字を削除します。

② ひらがなのままでよい場合は、[Enter]キーを押す

“なかた”で確定されます。

漢字変換する場合は [Space] キーを押し、目的の漢字が表示されたら、[Enter] キーを押す

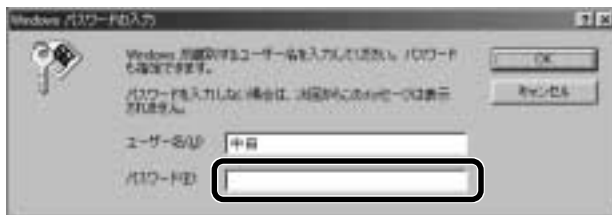
[Space] キーを押すたびに、漢字の候補が表示されます。



[Enter] キーを押すと、選択した漢字で確定します。

3 パスワードを入力する

ユーザー名の入力が終わった後、**[Tab]** キーを押します。

パスワードには次の文字（半角英数文字）が使用できます。4～8文字を目安に設定してください。ひらがなや漢字は入力できません。

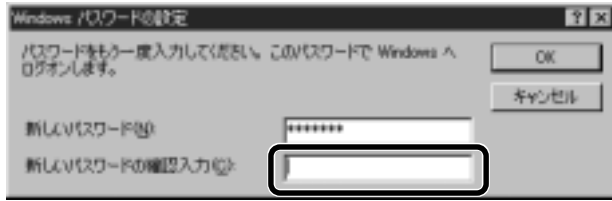


使用できる文字	アルファベット (半角)	A B C D E F G H I J K L M N O P Q R S T U V W X Y Z
	数字 (半角)	0 1 2 3 4 5 6 7 8 9
	記号 (単独のキーで入力できる文字の一部)	- ^ @ [] ; : , . / (スペース)
使用できない文字	<ul style="list-style-type: none">・ 全角文字 (2バイト文字)・ 日本語入力システムの起動が必要な文字 【例】 漢字、カタカナ、ひらがな、日本語入力システムが供給する文字 など・ 単独のキーで入力できない (入力するときに [Shift] キーなどを使用する) 文字 【例】 (バーチカルライン)、& (アンド)、 ~ (チルダ) など・ ¥ (エン)  キーや  キーを押すと ¥ が入力されます。	

入力したパスワードは「****」で表示されます。パスワードは間違いのないように入力してください。入力ミスをした場合は、**[BackSpace]** キーを押して入力ミスした文字を削除します。パスワードの入力が終わったら、**[OK]** ボタンをクリックします。

[Windows パスワードの設定] 画面が表示されます。

4 登録したパスワードをもう一度入力し、[OK] ボタンをクリックする



入力したパスワードが間違っている場合は、メッセージが表示されますので、[OK] ボタンをクリックしてメッセージを消した後、パスワードをもう一度入力し直してください。

●登録したパスワードを正しく入力できない場合

- ① [Del] キーで [新しいパスワードの確認入力] のパスワードをすべて削除する
- ② [Shift] キーと [Tab] キーを同時に押す
カーソルが新しいパスワードの入力に戻ります。
- ③ [Del] キーを押して、いったんパスワードをすべて削除する
- ④ 新しいパスワードを入力する
- ⑤ [Tab] キーを押す
- ⑥ [新しいパスワードの確認入力] に同じパスワードを入力する
- ⑦ [OK] ボタンをクリックする



メモ

・ [システム設定の変更] 画面で「新しいハードウェアの設定を完了するには、コンピュータを再起動してください。今すぐ再起動しますか？」のメッセージが表示されます。メッセージが表示されたらすぐに [はい] ボタンをクリックして、再起動してください。
このメッセージが表示された状態でしばらく操作を行わないと、再起動できなくなる場合があります。操作できなくなった場合は、[Ctrl]+[Alt]+[Del] キーを押して再起動し、Windows のセットアップを続けてください。

[Microsoft Windows へようこそ] 画面が表示されます。

マーリンの自己紹介が始まります。マーリンは、操作が途中でわからなくなったときに助けてくれるキャラクターです。

操作が途中でわからなくなったときは、マーリンをクリックするか、[F1] キーを押してください。メニューが表示されます。

ご覧になりたい項目をクリックすると説明が始まります。

5 [次へ] ボタンをクリックする

Windows のセットアップが開始されます。



[日本語の入力を練習しましょう] 画面が表示されます。

6 [省略] ボタンをクリックする



日本語入力の練習を行う場合は [次へ] ボタンをクリックして次の画面に進んでください。

[省略] ボタンをクリックした場合は、[タイムゾーンを選択する] 画面が表示されます。

- 7 [タイムゾーン] で [(GMT+09:00) 東京、大阪、札幌] が選択されていることを確認して、[次へ] ボタンをクリックする



[(GMT+9:00) 東京、大阪、札幌] が選択されていない場合は、▼ボタンをクリックし、一覧から選択してください。

[使用許諾契約書に同意] 画面が表示されます。

- 8 画面の [同意します] をチェック (左側の○印をクリック) して、[次へ] ボタンをクリックする



契約内容を、必ずお読みください。表示されていない部分を見るには、▲▼ボタンをクリックするか、[PgUp] キー、[PgDn] キーを使って画面を動かしてください。なお、契約に同意しなければ、セットアップを続行することはできません。

[登録先 : Microsoft] 画面が表示されます。

- 9 画面の [いいえ、今は登録しません] をチェック（左側の○印をクリック）して、[次へ] ボタンをクリックする



オンライン登録には、インターネット（モデム）への接続が必要です。ここではインターネットへの接続は行いません。インターネットへの接続とオンライン登録は、セットアップ後に行えます。

[AOLに入会して今すぐインターネットをはじめよう。] 画面が表示されます。

- 10 [次へ] ボタンをクリックする



[設定が完了しました] 画面が表示されます。

11 [完了] ボタンをクリックする



Windows のセットアップが終了します。



メモ

- ・ 東芝と Microsoft 社へのユーザ登録を行なってください。
- ☞ ユーザ登録 ☞ 「本節 3 ユーザ登録をする」

● Windows の使いかた

Windows の使いかたについては、同梱されている『Windows Me クイックスタートガイド』をご覧ください。

② Windows 2000 のセットアップ



お願い

・プロダクトキーがパソコン本体に貼られているラベルに印刷されています。このラベルは、絶対になくさないでください。再発行はできません。紛失した場合、Microsoft 社からの保守が受けられなくなります。

初めて電源を入れると、セットアップイメージが正しいかを確認するために、「CHKDSK」が実行されます。

ファイルシステムの異常が検出されたわけではありませんので、問題なくご使用いただけます。

[Windows 2000 セットアップ] 画面の後、[Windows 2000 セットアップウィザードの開始] 画面が表示されます。



1 [次へ] ボタンをクリックする

[ライセンス契約] の画面が表示されます。

契約内容を必ずお読みください。

表示されていない部分を見るには、▲▼ボタンをクリックするか[PgUp]キー、[PgDn]キーを使って、画面をスクロールさせてください。なお、契約に同意しなければ、セットアップを続行することはできません。

**2** 画面下部の【同意します】をチェックして【次へ】ボタンをクリックする

[ソフトウェアの個人用設定] の画面が表示されます。



3 名前と組織名を入力する

名前は必ず入力してください。会社名は省略できます。組織名を入力するには、名前の入力後 **[Tab]** キーを押します。



メモ

・日本語入力システムが起動しています。

ひらがなや漢字の入力のしかた

標準状態での入力方法は、ローマ字入力です。

例：“なかた” または “中田” と入力する場合

① **[N][A][K][A][T][A]** とキーを押す

“なかた” と表示されます。入力ミスした場合は、

[BackSpace] キーを押して入力ミスした文字を削除します。

② ひらがなのままでよい場合は、**[Enter]** キーを押す

“なかた” で確定されます。

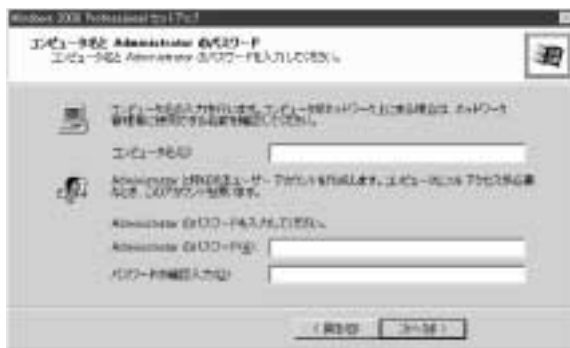
漢字変換する場合は **[Space]** キーを押し、目的の漢字が表示されたら、**[Enter]** キーを押す

[Space] キーを押すたびに、漢字の候補が表示されます。

[Enter] キーを押すと、選択した漢字で確定します。

4 [次へ] ボタンをクリックする

[コンピュータ名と Administrator のパスワード] 画面が表示されます。



5 コンピュータ名と Administrator のパスワードを入力する

コンピュータ名は自動で作成されます。変更する場合は、半角英数字で 15 文字以内の名前を入力してください。

Administrator と呼ばれるユーザ名を作成します。コンピュータにフルアクセスする場合に使用します。



お願い

・パスワードは大文字と小文字が区別されますので注意してください。例えば、「PASSWORD」と「password」は別のパスワードとして識別されます。

6 [次へ] ボタンをクリックする

[日付と時刻の設定] 画面が表示されます。



7 日付と時刻の設定をする

日付と時刻を確認します。

タイムゾーンで「(GMT+09:00) 大阪、札幌、東京」が選択されていることを確認します。

▼ボタンをクリックして適切な時刻/タイムゾーンを設定してください。

8 [次へ] ボタンをクリックする

設定の保存後、[Windows 2000 セットアップウィザードの完了] 画面が表示されます。



9 [完了] ボタンをクリックする

Windows 2000のセットアップを完了しました。

パソコンが再起動し、[Windows ヘログオン] 画面が表示されます。



10 Administrator のパスワードを入力し、[OK] ボタンをクリックする

Administrator でログオンした後、[Windows 2000 の紹介] 画面が表示されます。



(表示例)



メモ

- ・[Windows 2000 の紹介] の下部にあるチェックボックス (スタートアップ時にこの画面を表示) をクリックしてチェックをはずすと、次に Windows が起動したときはこの画面は表示されません。

ダイアログボックスを再表示する方法

[スタート] - [プログラム] - [アクセサリ] - [システムツール] - [はじめに] をクリックする

- ・次のようなパーティションがハードディスクに作成されています。

C ドライブ : NTFS システム

- ・ Administrator 以外のユーザでログオンするには、「ユーザとパスワード」を使用してユーザを作成してください。「ユーザとパスワード」については『Windows のヘルプ』をご覧ください。
- ・ 東芝と Microsoft 社へのユーザ登録を行なってください。
☞ ユーザ登録 ⇨ 「本節 3 ユーザ登録をする」

● Windows の使いかた

Windows の使いかたについては、[スタート] - [ヘルプ] をクリックして、『Windows のヘルプ』をご覧ください。

3 ユーザ登録をする

東芝へのユーザ登録および Microsoft 社へのユーザ登録は必ず行なってください。登録はそれぞれ行う必要があります。登録を行わないと、今後のサポートを受けられない場合があります。

インターネットで登録する場合は、パソコンの内蔵モデムをモジュラーケーブルで電話回線に接続し、インターネットに接続する必要があります。

☞ 「5章 2 インターネットに接続する」

● 東芝へのユーザ登録

同梱されている登録はがき、またはインターネットで登録できます。

「東芝 PC お客様登録」を使用する (Windows Me)

Windows Me モデルの場合、インターネットでユーザ登録をするための「東芝 PC お客様登録」を使用できます。

[スタート] - [プログラム] - [東芝 PC お客様登録] - [東芝 PC お客様登録] をクリックし、表示される画面に従って設定を行なってください。

お使いの状況に従って次の 3 つから選択してください。

- [インターネットプロバイダと未契約の方]：インターネットプロバイダ「infoPepper」に入会することになります。接続した時間などに依りて、料金がかかりますので、あらかじめご了承ください。
- [インターネットプロバイダと契約済みの方、もしくは LAN 経由でインターネット接続されている方]：インターネットに接続してユーザ登録できます。
- [インターネット経由での登録を希望しない方]：はがきでユーザ登録するメッセージが表示されます。

東芝ホームページから登録する

あらかじめプロバイダと契約し、インターネットに接続するための設定を行なっている必要があります。次のアドレスを入力し、表示された画面から登録を行なってください。

<http://www5.toshiba.co.jp/tpmc/nkhh.htm>

● Microsoft 社へのユーザ登録

同梱されている登録はがき、またはインターネットで登録できます。インターネットをご利用になるには、あらかじめプロバイダとの契約が必要です。

インターネットで登録する

インターネットに接続するための設定を行なったあと、次の手順で登録します。

● Windows Me の場合

- ① [スタート] - [ヘルプ] をクリックする
[ヘルプとサポート] 画面が表示されます。
- ② [Windows Millennium Edition を使う] をクリックする
- ③ [アプリケーションの登録] をクリックする
- ④ [Windows オンラインに登録する] をクリックする
- ⑤ 右画面の [ここをクリック] をクリックする
ウィザードが起動します。
- ⑥ 表示される画面に従って登録を行う

● Windows 2000 の場合

- ① [スタート] - [プログラム] - [アクセサリ] - [システムツール] - [はじめに] をクリックする
[Windows 2000 の紹介] 画面が表示されます。
- ② [今すぐ登録] をクリックする
ウィザードが起動します。
- ③ 表示される画面に従って登録を行う

3 電源を切る

パソコン本体を使い終わって電源を切るには、次の方法があります。
電源を切るときに、次の機能が実行できます。

- ・電源オフ（シャットダウン）
- ・スタンバイ機能
- ・休止状態

● 電源オフ（シャットダウン）

Windows を終了して、パソコン本体の電源を切ります。

● スタンバイ機能

電源を切る直前の状態をメモリに保持する機能です。
次に電源を入れると、切る直前の状態を再現します。
休止状態に比べて、状態の再現がすばやく行われます。
しかし、休止状態実行時よりもバッテリーを消耗しますので、AC アダプタ
を取り付けてお使いください。バッテリー駆動で使用する場合は、休止状態
を実行することをおすすめします。



- ・スタンバイ機能を実行中にバッテリーを使い切ったとき、またはバッテリパックを取りはずしたときは、スタンバイ機能が無効になります。また、データが消失するおそれがあります。

● 休止状態





電源を切る直前の状態をハードディスクに保存する機能です。
スタンバイ機能と同様に、次に電源を入れると、切る直前の状態を再現し
ます。
休止状態を実行するには、あらかじめ設定が必要です。ご購入時は有効に
設定されています。

☞ 電源オフ、スタンバイ機能、休止状態 ⇨ [5章 1 消費電力を節約する]

これらの機能を実行して電源を切るには、いくつか方法があります。




注意

- ・ 休止状態を実行すると、メモリ内容をハードディスクに書き込んだ後に、電源が切れます。その間、Disk  LED が点灯し続けます。Disk  LED、および Power  LED 点灯中は、パソコン本体の持ち運びをしないでください。ハードディスクドライブが壊れるおそれがあります。
- ・ Disk  LED、またはフロッピーディスクドライブのLEDが点灯中は、電源を切ったり、フロッピーディスクドライブのイジェクトボタンを押したりしないでください。データが消失するおそれや、ハードディスクドライブやフロッピーディスクドライブが壊れるおそれがあります。
- ・ パソコン本体や周辺機器の電源は、切った後すぐには入れないでください。十分に放電するまでしばらく待ってください。



お願い

- ・ 必ず手順に従って電源を切ってください。手順に従って電源を切らないと、故障の原因となることがあります。
- ・ 周辺機器の電源は、パソコンの電源を切った後に切ってください。
- ・ 休止状態を実行すると、メモリ内容をハードディスクに書き込んだ後に、電源が切れます。その間、Disk  LED が点灯し続けます。LED が点灯中は、バッテリーパックをはずしたり、ACアダプタを抜いたりしないでください。
- ・ スタンバイ機能、または休止状態を設定していない場合は、データを保存し、アプリケーションをすべて終了させてから、電源を切ってください。データが消失するおそれがあります。

1 Windows Me の場合

● 方法 1 - 電源オフ

[スタート] メニューから Windows を終了します。

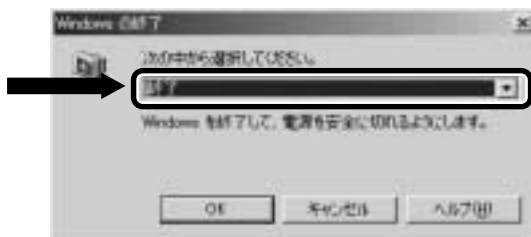
- 1 データを保存し、アプリケーションを終了する
- 2 [スタート] ① - [Windows の終了] ②を選択する



(表示例)

- 3 [終了] が選択されていることを確認し、[OK] ボタンをクリックする

選択されていない場合は▼ボタンをクリックして選択してください。



メモ

・この方法で電源を切るとスタンバイ機能や休止状態は実行されません。

● 方法2 - スタンバイ機能

[スタート] メニューからスタンバイ機能を実行します。

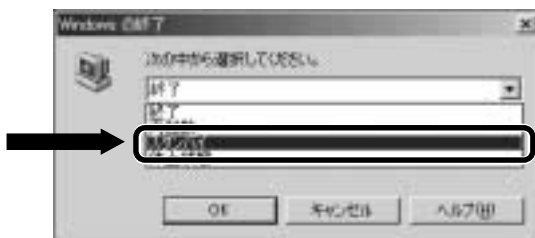
1 [スタート] ① - [Windows の終了] ②を選択する



(表示例)

2 ▼ボタンをクリックして [スタンバイ] を選択し、[OK] ボタンをクリックする

スタンバイ機能を実行して終了します。



メモ

・スタンバイ機能を実行すると、休止状態実行時よりバッテリーの保持時間は非常に短くなります。バッテリー駆動で使用する場合は、休止状態を実行することをおすすめします。

● 方法3 - 休止状態

[スタート] メニューから休止状態を実行します。
あらかじめ休止状態を有効にしておきます。

1 休止状態のサポートを有効に設定する

- ① [スタート] - [設定] - [コントロールパネル] をクリックする
- ② [東芝省電力] をダブルクリックする
[コントロールパネル] 画面に [東芝省電力] アイコンが表示されていない場合は、画面左の [すべてのコントロールパネルのオプションを表示する。] をクリックしてください。
- ③ [休止状態] タブで [休止状態をサポートする] をチェックする ()
- ④ [OK] ボタンをクリックする

休止状態のサポートが有効になります。

2 [スタート] ① - [Windows の終了] ② を選択する



(表示例)

3 ボタンをクリックして、[休止状態] を選択し、[OK] ボタンをクリックする



● 方法4 - 電源スイッチを押す

電源オフ/スタンバイ/休止状態を実行できます。
あらかじめ、**[Fn]+[F3]**キーを押して、設定します。

1 **[Fn]**キーを押しながら、**[F3]**キーを押す

画面が表示されます。

2 **[Fn]**キーを押したまま、**[F3]**キーを押し、実行したい処理(機能)を選択する

[F3]キーを押すたびに、処理(機能)が切り替わります。
[東芝省電力]からも設定できます。

☞ 省電力モードの設定 ⇨ [5章 1 消費電力を節約する]



メモ

・休止状態を実行するには、[コントロールパネル] - [東芝省電力] - [休止状態] タブで [休止状態をサポートする] をチェックしてください。

3 電源スイッチを押す

● 方法5 - ディスプレイを閉じる (パネルスイッチ機能)

電源オフ/スタンバイ/休止状態を実行できます。
あらかじめ、「東芝省電力ユーティリティ」での設定が必要です。

1 ディスプレイを閉じたときに実行したい処理(機能)を選択する

- ① [スタート] - [設定] - [コントロールパネル] をクリックする
- ② [東芝省電力] をダブルクリックする
- ③ [電源設定] タブで利用する省電力モードを選択し、[詳細] ボタンをクリックする
- ④ [動作] タブの [コンピュータを閉じたとき] で、表示されるメニューから実行したい処理(機能)を選択する

スタンバイまたは休止状態に設定した場合、ディスプレイを再び開けると、自動的に電源が入り、ディスプレイを閉じる直前の状態を再現します。



メモ

・休止状態を使用するには、[コントロールパネル] - [東芝省電力] - [休止状態] タブで [休止状態をサポートする] をチェックしてください。

2 ディスプレイを閉じる

② Windows 2000 の場合

● 方法 1 - 電源オフ (シャットダウン)

[スタート] メニューから Windows を終了します。

- 1 データを保存し、アプリケーションを終了する
- 2 [スタート] ① - [シャットダウン] ②を選択する



(表示例)

- 3 ▼ ボタンをクリックして [シャットダウン] を選択し、
[OK] ボタンをクリックする



・この方法で電源を切るとスタンバイ機能や休止状態は実行されません。

● 方法2 - スタンバイ機能

[スタート] メニューからスタンバイ機能を実行します。

1 [スタート] ① - [シャットダウン] ②を選択する



(表示例)

2 ▼ ボタンをクリックして [スタンバイ] を選択し、[OK] ボタンをクリックする

スタンバイ機能を実行して終了します。



メモ

・スタンバイ機能を実行すると、休止状態実行時よりバッテリーの保持時間は非常に短くなります。バッテリー駆動で使用する場合は、休止状態を実行することをおすすめします。

● 方法 3 - 休止状態

[スタート] メニューから休止状態を実行します。
あらかじめ休止状態を有効にしておきます。

1 休止状態のサポートを有効に設定する

- ① [スタート] - [設定] - [コントロールパネル] をクリックする
- ② [東芝省電力] をダブルクリックする
- ③ [休止状態] タブで [休止状態をサポートする] をチェックする ()
- ④ [OK] ボタンをクリックする

休止状態のサポートが有効になります。

2 [スタート] ① - [シャットダウン] ②を選択する



(表示例)

3 ボタンをクリックして、[休止状態] を選択し、[OK] ボタンをクリックする



● 方法4 - 電源スイッチを押す

電源オフ/スタンバイ/休止状態を実行できます。
あらかじめ、**[Fn]+[F3]**キーを押して、設定します。

1 **[Fn]**キーを押しながら、**[F3]**キーを押す

画面が表示されます。

2 **[Fn]**キーを押したまま、**[F3]**キーを押し、実行したい処理(機能)を選択する

[F3]キーを押すたびに、処理(機能)が切り替わります。
[東芝省電力]からも設定できます。

☞ 省電力モードの設定 ⇨ [5章 1 消費電力を節約する]



×モ

・休止状態を実行するには、[コントロールパネル] - [東芝省電力] - [休止状態] タブで [休止状態をサポートする] をチェックしてください。

3 電源スイッチを押す

● 方法5 - ディスプレイを閉じる (パネルスイッチ機能)

電源オフ/スタンバイ/休止状態を実行できます。
あらかじめ、「東芝省電力ユーティリティ」での設定が必要です。

1 ディスプレイを閉じたときに実行したい処理(機能)を選択する

- ① [スタート] - [設定] - [コントロールパネル] をクリックする
- ② [東芝省電力] をダブルクリックする
- ③ [電源設定] タブで利用する省電力モードを選択し、[詳細] ボタンをクリックする
- ④ [動作] タブの [コンピュータを閉じたとき] で、表示されるメニューから実行したい処理(機能)を選択する

スタンバイまたは休止状態に設定した場合、ディスプレイを再び開けると、自動的に電源が入り、ディスプレイを閉じる直前の状態を再現します。



×モ

・休止状態を使用するには、[コントロールパネル] - [東芝省電力] - [休止状態] タブで [休止状態をサポートする] をチェックしてください。

2 ディスプレイを閉じる

4 オンラインマニュアルの起動

本製品には、取扱説明書の他に、オンラインマニュアルがプレインストールされています。便利な設定やプレインストールされているアプリケーションの使いかたなどは、オンラインマニュアルを参照してください。オンラインマニュアルの起動方法は次のとおりです。

1 パソコン本体の電源を入れる

☞ 「本章 1 電源を入れる」

Windows のデスクトップ画面が表示されます。

2 [スタート] ボタンをクリックし①、[オンラインマニュアル] をクリックする②

オンラインマニュアルが起動します。

表示の内容はあらかじめインストールされているソフトやお客様の設定により異なります。

画面は Windows Me の表示例です。



・デスクトップ上にある [オンラインマニュアル] アイコンをダブルクリックしても起動できます。



● オンラインマニュアルの内容

オンラインマニュアルを起動すると、次のような目次が表示されます。

はじめに	オンラインマニュアル中の表示記号、ユーザ登録などについて
オンラインマニュアルの使いかた	オンラインマニュアルの使いかたについて
ソフトウェア	本製品に用意されている各アプリケーションについて
こんなことがしたい	本製品をいろいろなことに活用する方法について
困ったときは	操作に行き詰まったときに、トラブルを解消する方法について
付録	モデム機能、製品の仕様などについて
用語集	知っておいた方がよいパソコン関係の用語について

● 検索する

オンラインマニュアルの記述内容は、[検索] タブで検索できます。

[検索] タブ 探したい語句を入力し、その語句が含まれるページをすべて検索します。

3

パソコンを持ち歩く

本章では、パソコンをバッテリー駆動で
使用するときについて説明します。

- 1 バッテリーを使う 80
- 2 大容量バッテリーを使う 87
- 3 バッテリーを節約する 92

1 バッテリーを使う

バッテリーを充電して、または充電したバッテリーパックと交換して、バッテリー駆動（ACアダプタを接続しない状態）で使うことができます。

ご購入時には、バッテリーはフル充電されていません。

本製品をはじめてお使いになるときは、バッテリーを充電してからお使いください。

🔋 バッテリーの充電 ⇨ 「1章 4 バッテリーの充電」

🔋 バッテリーパックの交換 ⇨ 「本節 4 バッテリーパックを交換する」

また、本製品には標準添付のバッテリーパックの他に大容量バッテリー（別売り）を取り付けて使用できます。

🔋 大容量バッテリー ⇨ 「本章 2 大容量バッテリーを使う」



・大容量バッテリーパック（別売り：PABAL001）も使用できます。

1 バッテリー充電量を確認する

バッテリー駆動で使う場合、バッテリー充電量を確認しておかないと使用中に充電量が減少し、途中で作業を中断したり、あわてて電源コードを接続することになります。

バッテリー充電量を確認するには、次の方法があります。


● Main Battery LED で確認する

ACアダプタを接続し、Main Battery LEDが緑色に点灯するとフル充電の状態です。

オレンジ色に点灯あるいは点滅した場合は、バッテリーの充電が必要です。

🔋 Main Battery LED ⇨ 「1章 4-3 バッテリーに関する表示」

● アイコンで確認する

タスクバーの省電力アイコン () の上にマウスポインタを置くと、バッテリー充電量が表示されます。

- ACアダプタを接続している場合
- バッテリー駆動で使用している場合



(表示例)

このときバッテリー充電量以外にも、現在使用している省電力モード名や、使用している電源の種類が表示されます。バッテリー駆動で使用している場合には、バッテリー動作予想時間も表示されます。



- ・タスクバーに表示される省電力アイコンの絵は現在使用されている省電力モードにより変わります。
- ・東芝省電力ユーティリティの [電源設定] タブの設定によっては、タスクバーに省電力アイコンが表示されません。表示させたいときは、[電源設定] タブで [タスクバーに省電力モードの状態を表示する] をチェックしてください。

② 時計用バッテリー

本製品には取りはずし可能なバッテリーパックの他に、内蔵バッテリーとして、時計用バッテリーがあります。時計用バッテリーは、内蔵時計を動かすためのものです。

時計用バッテリーの充電完了までの時間は次のとおりですが、実際には充電完了まで待たなくても使用可能です。また、充電状態を知ることはできません。


状態	時間
ACアダプタを接続している (Power  LEDが点灯)	10時間以上



- ・時計用バッテリーの充電は、ACアダプタを接続しているときに行われますので、普通に使用している場合は、あまり意識して行う必要はありません。ただし、あまり充電されていない場合、時計が止まったり、遅れたりすることがあります。

3 バッテリーの使用時間

電源として使われるバッテリーの使用時間は、充電量や使用状態により差があります。

 **注意** ・バッテリー駆動で使用しているときは、バッテリーの容量に十分注意してください。
バッテリー（バッテリーパック、時計用バッテリー）を使いきってしまうと、時刻や日付に誤差が生じます。このような場合は、ACアダプタを接続して、一度全バッテリーを充電してください。

● バッテリー駆動での使用時間

バッテリー駆動での使用時間は、本パソコンの使用環境によって異なります。次の数字は目安です。

● 充電完了の状態で使用した場合

省電力モード	標準バッテリーパック	標準バッテリーパックと大容量バッテリーの両方
ロングライフ	約 1.7 時間	約 7.3 時間

(注) Battery Mark4.0で計測

☞ 大容量バッテリーについて ☜ 「本章 2 大容量バッテリーを使う」

パソコン本体を使用しないで放置していても、バッテリーは自然に放電します。この場合も放置環境などに左右されますので、放置時間は目安として参考にしてください。

フル充電したバッテリーパックをパソコン本体に取り付け、電源を切った状態で放置した場合、放電しきるまでの時間：約 18 日間



お願い

- ・スタンバイ機能を実行している場合、バッテリーの取りはずしはしないでください。取りはずすとスタンバイ機能が無効になり、データが消失するおそれがあります。
- ・スタンバイ機能を実行している場合、放電しきるまでの時間は約 2 日になります。




メモ

- ・休止状態を実行している場合、バッテリーパックをパソコン本体から取りはずしておく、バッテリーを使用できる時間は長くなります。

● バッテリー充電量が減少したとき

電源が入っている状態でバッテリー充電量の減少が進むと、パソコン本体は次のように警告します。

- Main Battery  LED がオレンジ色の点滅を始める
- 警告音が鳴る

この場合はただちに AC アダプタを接続してください。

ご購入時は、休止状態を実行して電源が切れます。引き続きバッテリー駆動で使用するときは、バッテリーを充電してください。



お願い

- ・ AC アダプタを接続してバッテリーを充電しないと、データが消失するおそれがあります。
- ・ パソコン本体をバッテリー駆動で使うときは、定期的に充電してください。
- ・ AC アダプタをコンセントにつなげたままで放置しないでください。
- ・ バッテリーパックは長期間使用すると充電機能が低下します。これはバッテリーの寿命ですので、別売りのバッテリーパックと交換してください。



メモ

- ・ 長時間使用しないでバッテリーが自然に放電してしまったときは、警告音でも Main Battery  LED でも知ることができません。

4 バッテリーパックを交換する

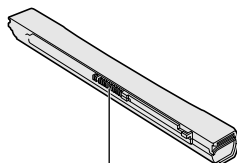
本製品には標準でバッテリーパックが取り付けられています。このバッテリーパックは着脱可能で、約500回程度の充電をすることができます。長期間の使用の後、充電機能が低下するようになったら、別売りのバッテリーパックと交換してください。この別売りのバッテリーパックの取り扱いには標準装備のバッテリーパックとまったく同じです。

このパソコン対応の製品以外のバッテリーパックは使用しないでください。



注意

- ・バッテリーパックの電極や、バッテリーパックを取り付けるパソコン側の電極をショートさせないでください。また、バッテリーパックをバックなどに入れて持ち運ぶときは、ビニールなどに包んで、電極が金属にふれないようにしてください。電極がショートすると発熱、発火などのおそれがあります。
- ・バッテリーパックを加熱したり、分解したり、ショートさせたり、火の中へ投入したりしないでください。破裂や火災のおそれがあります。



バッテリーパックの電極



バッテリーパック用電極

● バッテリーパックの取りはずし／取り付け

⚠ 警告 ・バッテリーパックは、必ずこのパソコン対応の製品を使用してください。また、寿命などで交換する場合は、指定の製品をお買い求めください。指定以外の製品は、電圧や端子の極性が異なることがあるため、発煙・火災のおそれがあります。



お願い

・スタンバイ機能を実行しても、バッテリーパックを取りはずすとスタンバイ機能が無効になるため、データは消失します。データを保存し、Windowsを終了してから、バッテリーパックを取りはずしてください。

1 データを保存して、Windowsを終了し、パソコン本体の電源を切る

休止状態を実行して電源を切り、バッテリーパックの取りはずし／取り付けを行うこともできます。

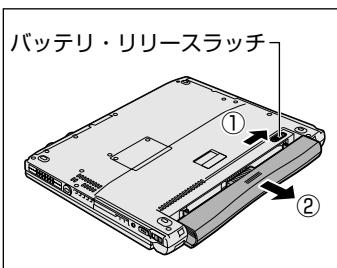
☞ 休止状態 ☞ 「2章 3 電源を切る」

2 ACアダプタや周辺機器のケーブルをはずす

3 ディスプレイを閉じて、パソコン本体を裏返す

4 バッテリー・リリースラッチをスライドしながら①、バッテリーパックを取りはずす②

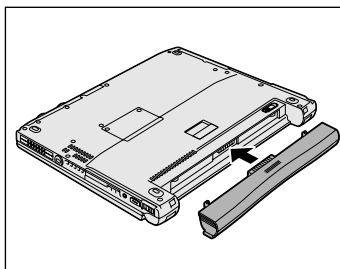
ゆっくり引いてください。



⚠ 注意 ・バッテリーパックは、無理な力を加えずに静かに取りはずしてください。いきおいよくはずすと、バッテリーパックが足の上などに落ち、思わぬケガのおそれがあります。

5 交換するバッテリーパックを、カチッという音がするまで、静かに差し込む

バッテリー・リリースラッチが左へ移動します。

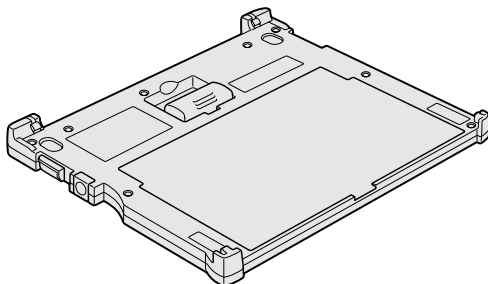


注意 ・バッテリーパックはしっかりと取り付けられているかどうか、必ず確認してください。正しく装着されていないと、持ち運びのときにバッテリーパックがはずれ落ちて、思わぬケガのおそれがあります。

本製品には、標準添付のバッテリーパックの他に、大容量バッテリー（別売り）が用意されています。

標準バッテリーパックと大容量バッテリーを同時に使用することにより、長時間バッテリー駆動で 사용할 ことができます。

※大容量バッテリーとは、大容量バッテリーパックを大容量バッテリーアダプタに取り付けた状態を指します。



充電方法、充電時間、バッテリー駆動での使用時間については、標準バッテリーパックとあわせて説明していますので、参照ください。

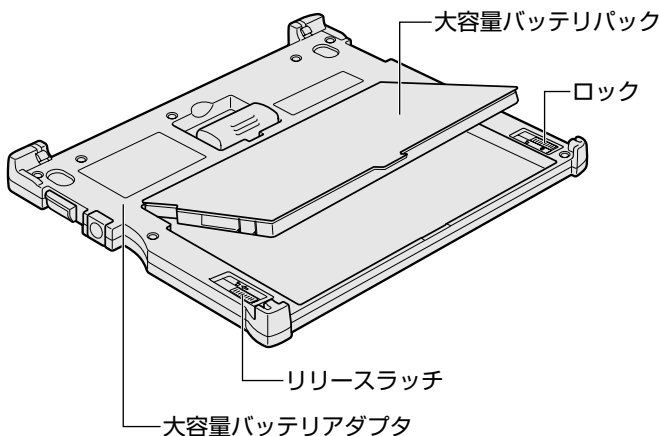
- ☞ 充電方法や充電時間 ⇨ 「1 章 4 バッテリーの充電」
- ☞ バッテリー駆動での使用時間 ⇨ 「本章 1-3- バッテリー駆動での使用時間」



お願い

・スタンバイ機能を実行しているとき、標準バッテリーパックと大容量バッテリーの両方を取りはずすとスタンバイ機能が無効になるため、データは消失します。

① 大容量バッテリーパックの取り付け／取りはずし



● 取り付け

- 1 大容量バッテリーパックを、大容量バッテリーアダプタに合わせて斜め上から差し込む
- 2 カチッと音がする位置にはめ込む
大容量バッテリーアダプタ左側のリリーススラッチが手前に移動します。
- 3 大容量バッテリーアダプタ右側のロックを手前にスライドする
大容量バッテリーパックがロックされます。

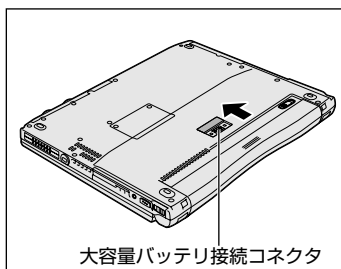
● 取りはずし

- 1 パソコン本体に大容量バッテリーを接続している場合は、パソコン本体の電源を切り、大容量バッテリーを取りはずす
☞ 「本節 2 パソコン本体への取り付け／取りはずし」
- 2 大容量バッテリーアダプタ右側のロックを奥側にスライドする
大容量バッテリーパックのロックが解除されます。
- 3 大容量バッテリーアダプタ左側のリリーススラッチを奥側にスライドし、大容量バッテリーパックの手前を持ち上げる
- 4 大容量バッテリーパックをしっかりとつかみ、手前に引き抜く

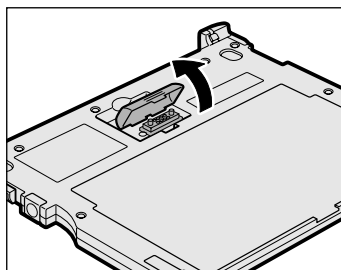
② パソコン本体への取り付け／取りはずし

● 取り付け

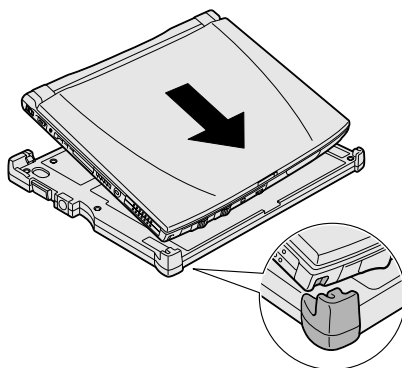
- 1 データを保存して、Windows を終了し、パソコン本体の電源を切る
- 2 ACアダプタや周辺機器のケーブルをはずす
- 3 パソコン本体を裏返し、大容量バッテリー接続コネクタのカバーを開く



- 4 大容量バッテリーのコネクタカバーを開く

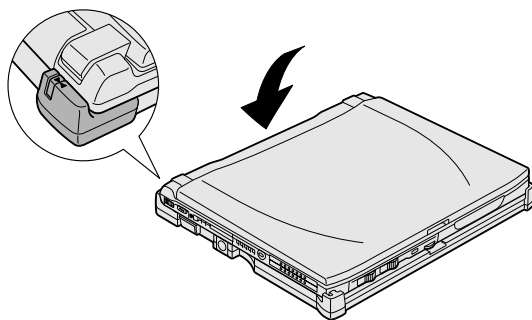


- 5 パソコン本体前面のへこみに、大容量バッテリーの両端のツメをはめる



6 パソコン本体の背面を押す

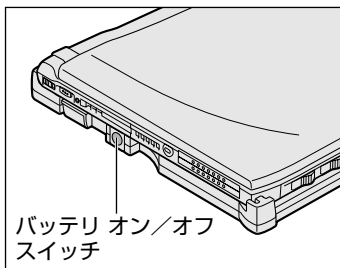
背面にある大容量バッテリーのラッチがはまるのを確認してください。きちんとはまると図のように▶と◀が重なります。



! 注意 ・大容量バッテリーはしっかりと取り付けられているかどうか、必ず確認してください。正しく取り付けられていないと、持ち運びのときに大容量バッテリーがはずれ落ちて、思わぬケガのおそれがあります。

7 大容量バッテリーのバッテリー オン／オフ スイッチを押す

スイッチがへこみ、大容量バッテリーが使用可能な状態になります。



● 取りはずし

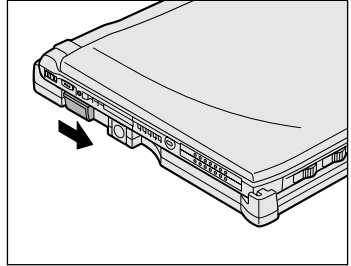
1 データを保存して、Windows を終了し、パソコン本体の電源を切る

2 ACアダプタや周辺機器のケーブルをはずす

3 イジェクトレバーをスライドする

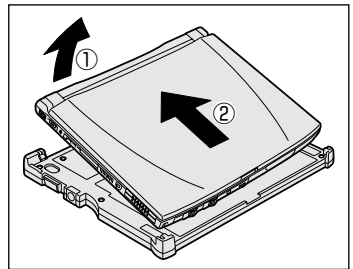
パソコン本体が少し持ち上がります。

レバーは大容量バッテリーの背面にあるラッチがはずれるまできちんとスライドしてください。へこみに指を合わせると楽にスライドできます。



4 大容量バッテリーからパソコン本体を取りはずす

パソコン本体の背面中央を上を持ち上げます。



5 パソコン本体の大容量バッテリー接続コネクタのカバーを閉じる

6 大容量バッテリーのコネクタカバーを閉じる

3 バッテリーを節約する

バッテリー駆動で長時間使用するには、次の方法があります。

- バッテリーの充電を完了（フル充電）する
- バッテリー駆動で使用した後は、バッテリーを充電しておく
- スタンバイ機能または休止状態を活用し、こまめに電源を切る
スタンバイ機能や休止状態とは、電源を切った後、次に電源を入れると、以前の状態を再現することができる機能です。
 - ☞ スタンバイ機能／休止状態 ⇨ 「5章 1 消費電力を節約する」
- パネルスイッチ機能を活用し、入力しないときは、ディスプレイを閉じておく
 - ☞ パネルスイッチ機能 ⇨ 「2章 3 電源を切る」
- 省電力に設定する
 - ☞ 省電力設定 ⇨ 「5章 1 消費電力を節約する」



メモ

・バッテリー駆動時、CPUは500MHz相当の周波数で動作します。
700MHzで動作させる場合は、ACアダプタの接続が必要です。